

各都道府県の将来負担比率(市町村平均)の健康診断表 (全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分)

資料28

○将来負担比率が全国平均以上(「要治療」である)の団体は28団体で、奈良県を含むこれら全ての団体が前年度よりも改善。
○将来負担比率が全国平均未満(「健康」である)の団体は19団体で、このうち18団体が前年度よりも改善。(1団体は変動なし)

全国平均(60.0)以上

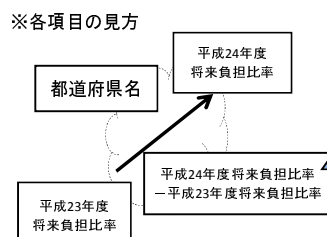
全国平均(60.0)未満

「要治療」であるが前年度よりも改善

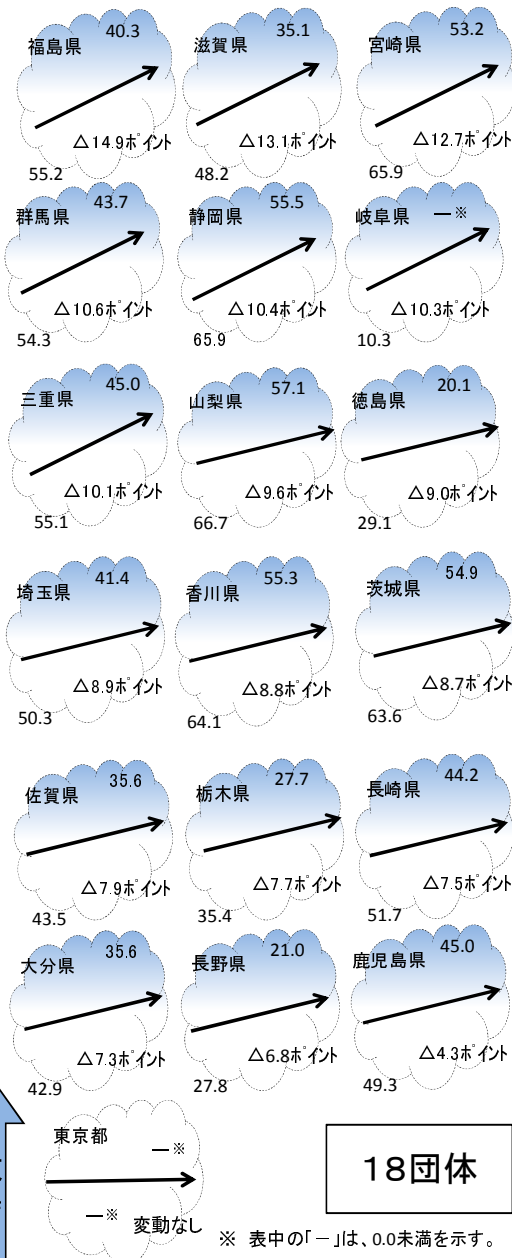
「健康」でかつ前年度よりも改善



28団体



改善



18団体

※ 表中の「—」は、0.0未満を示す。

「要治療」であるが前年度よりも悪化

「健康」であるが前年度よりも悪化

0団体

「健康」とは、将来負担比率が全国平均未満であることをいう。
「要治療」とは、将来負担比率が全国平均以上であることをいう。

0団体

悪化

奈良県内各市町村の将来負担比率の健康診断表 (全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分)

資料29

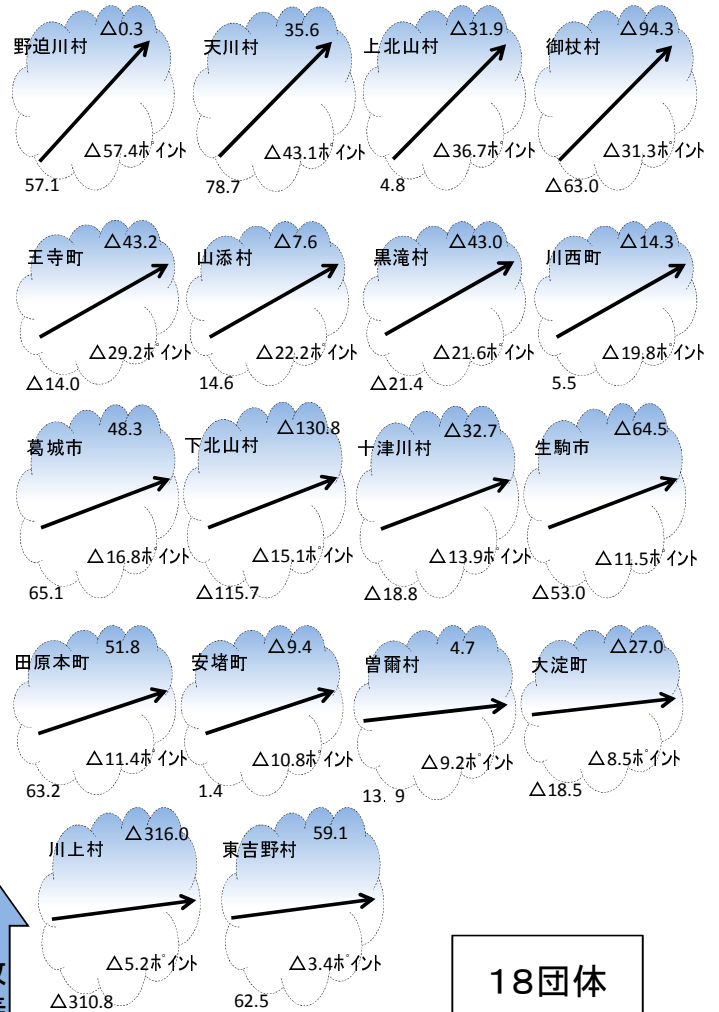
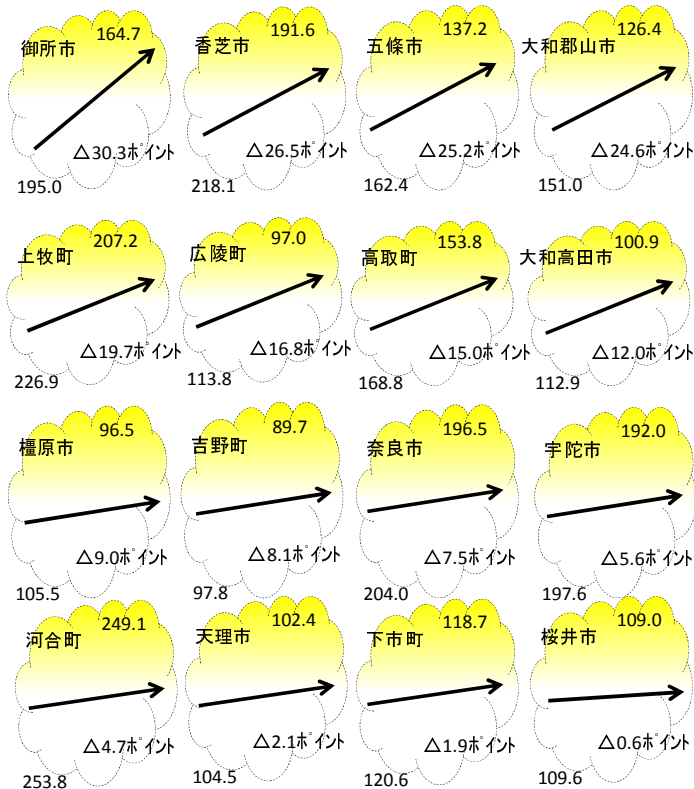
- 将来負担比率が全国平均以上(「要治療」である)の団体は17団体で、このうち16団体が前年度よりも改善し、1団体が悪化。
- 将来負担比率が全国平均未満(「健康」である)の団体は22団体で、このうち18団体が前年度よりも改善し、4団体が悪化。

全国平均(60.0)以上

全国平均(60.0)未満

「要治療」であるが前年度よりも改善

「健康」でかつ前年度よりも改善



「健康」とは、将来負担比率が全国平均未満であることをいう。

「要治療」とは、将来負担比率が全国平均以上であることをいう。

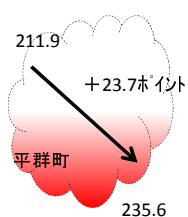
16団体

改善

18団体

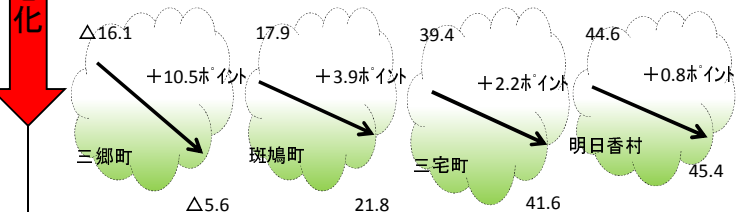
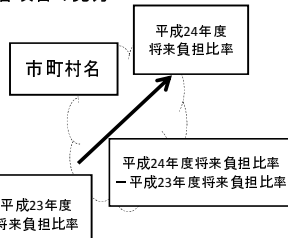
「要治療」であるが前年度よりも悪化

「健康」であるが前年度よりも悪化



1団体

※各項目の見方

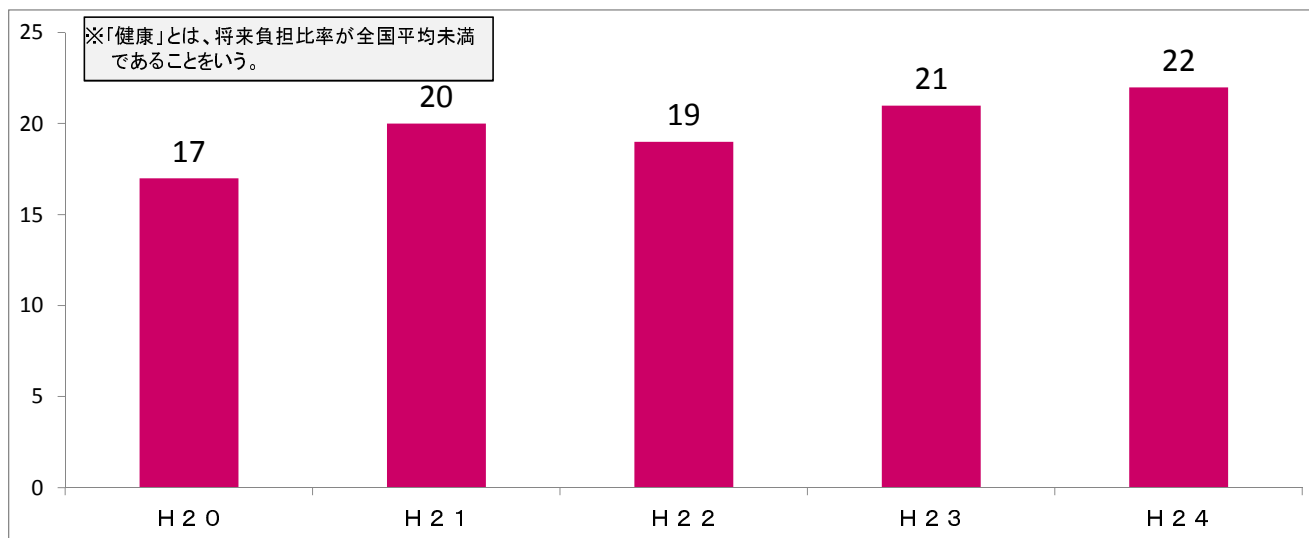


4団体

悪化

将来負担比率が全国平均より下回っている(「健康」である)奈良県内市町村数の推移

資料30



○全国平均を下回っている団体数は、H24年度決算では1団体増加し22団体となった。

○前年度と比較すると、天川村が全国平均を新たに下回ることとなった。

■ : 全国平均を下回っている団体

■ : 全国平均以上であるが県内市町村平均を下回っている団体

(単位: %)

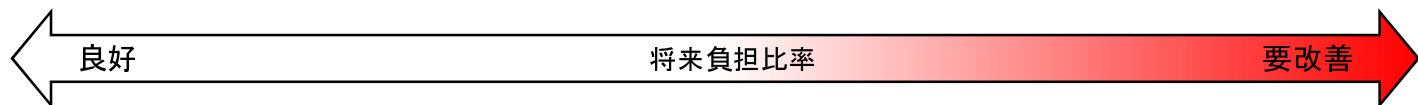
H20年度		H21年度		H22年度		H23年度		H24年度	
奈良市	226.9	奈良市	213.9	奈良市	209.4	奈良市	204.0	奈良市	196.5
大和高田市	176.3	大和高田市	151.7	大和高田市	122.0	大和高田市	112.9	大和高田市	100.9
大和郡山市	210.1	大和郡山市	191.9	大和郡山市	174.2	大和郡山市	151.0	大和郡山市	126.4
天理市	91.5	天理市	88.1	天理市	95.1	天理市	104.5	天理市	102.4
橿原市	147.8	橿原市	122.3	橿原市	108.4	橿原市	105.5	橿原市	96.5
桜井市	177.4	桜井市	151.2	桜井市	126.8	桜井市	109.6	桜井市	109.0
五條市	232.2	五條市	203.9	五條市	170.1	五條市	162.4	五條市	137.2
御所市	292.3	御所市	259.3	御所市	229.4	御所市	195.0	御所市	164.7
生駒市	△ 23.0	生駒市	△ 20.6	生駒市	△ 31.5	生駒市	△ 53.0	生駒市	△ 64.5
香芝市	288.6	香芝市	263.2	香芝市	231.0	香芝市	218.1	香芝市	191.6
葛城市	102.6	葛城市	94.2	葛城市	84.0	葛城市	65.1	葛城市	48.3
宇陀市	249.6	宇陀市	227.8	宇陀市	198.1	宇陀市	197.6	宇陀市	192.0
山添村	96.7	山添村	70.8	山添村	32.1	山添村	14.6	山添村	△ 7.6
平群町	250.2	平群町	249.5	平群町	225.2	平群町	211.9	平群町	235.6
三郷町	39.4	三郷町	15.4	三郷町	△ 0.4	三郷町	△ 16.1	三郷町	△ 5.6
斑鳩町	29.5	斑鳩町	15.7	斑鳩町	15.2	斑鳩町	17.9	斑鳩町	21.8
安堵町	△ 4.5	安堵町	9.7	安堵町	△ 6.8	安堵町	1.4	安堵町	△ 9.4
川西町	50.0	川西町	43.4	川西町	26.4	川西町	5.5	川西町	△ 14.3
三宅町	121.1	三宅町	102.9	三宅町	93.4	三宅町	39.4	三宅町	41.6
田原本町	84.7	田原本町	81.8	田原本町	66.3	田原本町	63.2	田原本町	51.8
曽爾村	116.0	曽爾村	72.7	曽爾村	40.8	曽爾村	13.9	曽爾村	4.7
御杖村	18.5	御杖村	△ 1.2	御杖村	△ 35.2	御杖村	△ 63.0	御杖村	△ 94.3
高取町	251.8	高取町	224.0	高取町	209.1	高取町	168.8	高取町	153.8
明日香村	92.6	明日香村	86.3	明日香村	57.8	明日香村	44.6	明日香村	45.4
上牧町	306.0	上牧町	273.0	上牧町	245.9	上牧町	226.9	上牧町	207.2
王寺町	55.6	王寺町	43.1	王寺町	14.0	王寺町	△ 14.0	王寺町	△ 43.2
広陵町	173.8	広陵町	149.7	広陵町	133.1	広陵町	113.8	広陵町	97.0
河合町	279.4	河合町	271.8	河合町	257.7	河合町	253.8	河合町	249.1
吉野町	164.2	吉野町	129.9	吉野町	96.7	吉野町	97.8	吉野町	89.7
大淀町	14.4	大淀町	5.5	大淀町	△ 10.0	大淀町	△ 18.5	大淀町	△ 27.0
下市町	149.3	下市町	143.1	下市町	120.2	下市町	120.6	下市町	118.7
黒滝村	54.8	黒滝村	25.4	黒滝村	9.6	黒滝村	△ 21.4	黒滝村	△ 43.0
天川村	105.6	天川村	82.6	天川村	56.8	天川村	78.7	天川村	35.6
野迫川村	110.7	野迫川村	62.4	野迫川村	17.6	野迫川村	57.1	野迫川村	△ 0.3
十津川村	△ 78.7	十津川村	△ 52.6	十津川村	△ 33.3	十津川村	△ 18.8	十津川村	△ 32.7
下北山村	△ 24.8	下北山村	△ 50.9	下北山村	△ 69.3	下北山村	△ 115.7	下北山村	△ 130.8
上北山村	86.2	上北山村	61.5	上北山村	37.1	上北山村	4.8	上北山村	△ 31.9
川上村	△ 88.3	川上村	△ 101.1	川上村	△ 100.8	川上村	△ 310.8	川上村	△ 316.0
東吉野村	175.7	東吉野村	125.3	東吉野村	85.6	東吉野村	62.5	東吉野村	59.1
県平均	165.0	県平均	148.9	県平均	133.1	県平均	121.8	県平均	109.5
全国平均	100.9	全国平均	92.8	全国平均	79.7	全国平均	69.2	全国平均	60.0

奈良県内各市町村の将来負担比率の対前年度比較

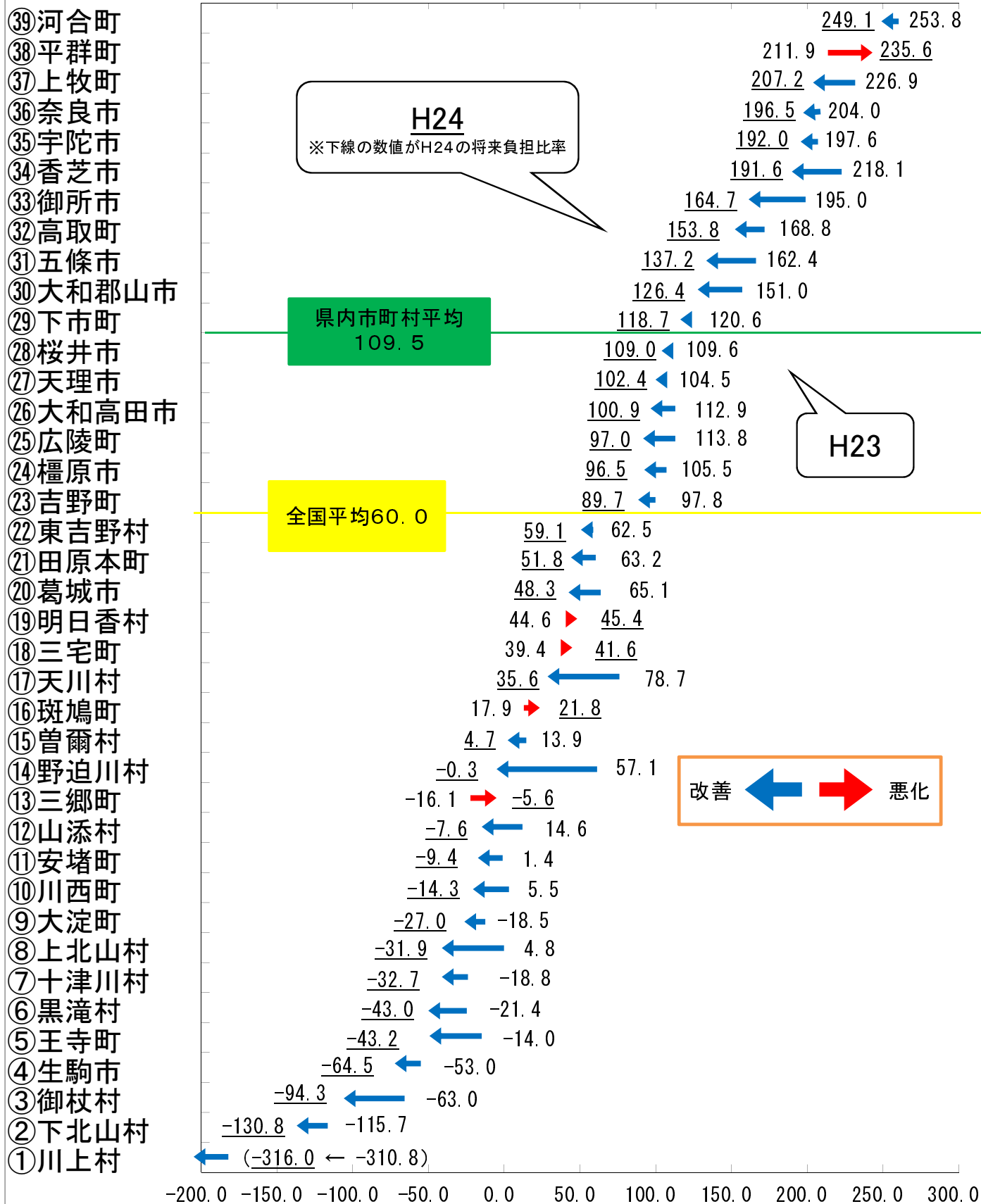
資料31

○前年度より改善した団体数は34、悪化した団体数は5。

○野迫川村、天川村などの改善ポイントが特に大きく、一方、平群町、三郷町などの悪化ポイントが特に大きい。



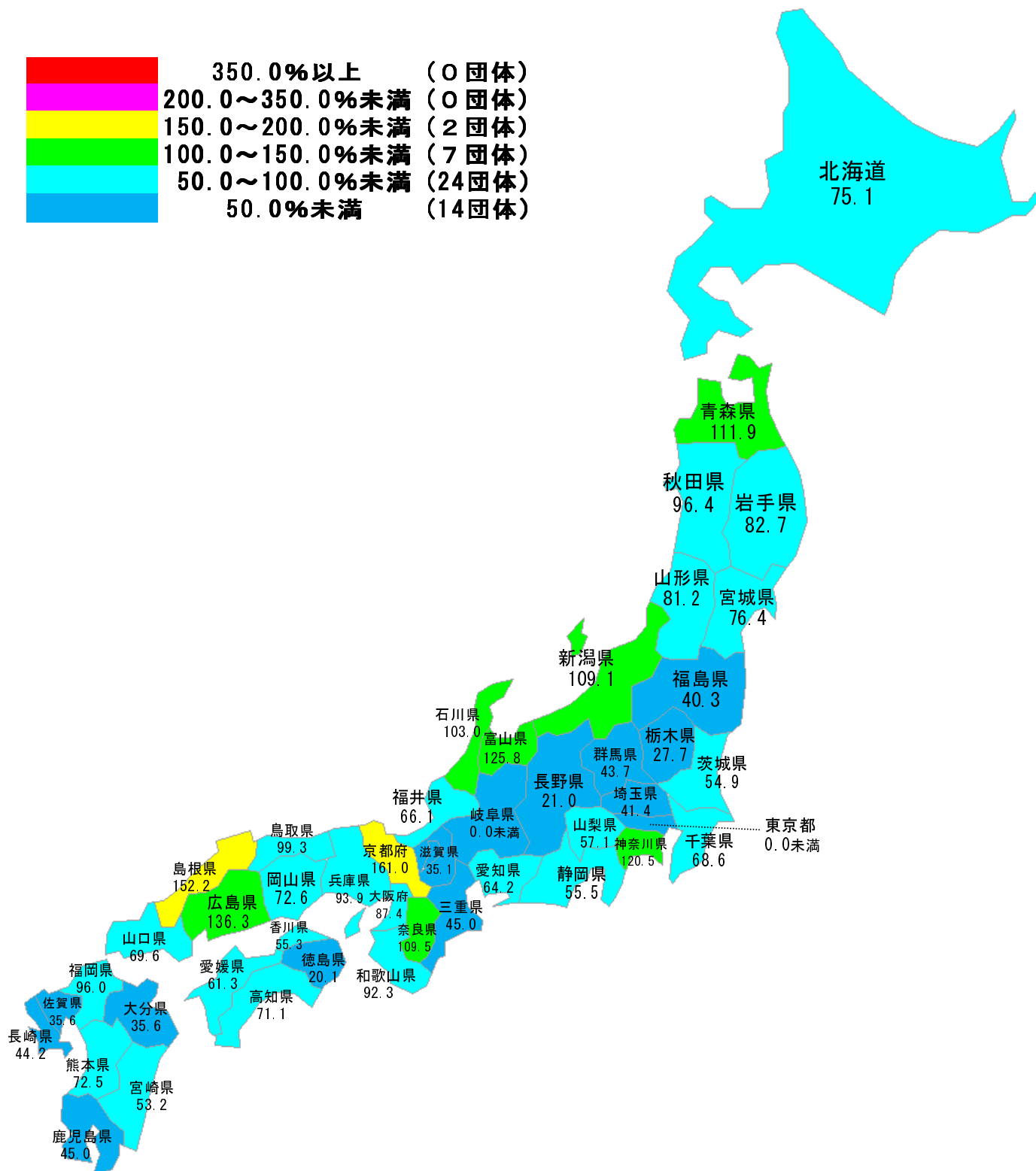
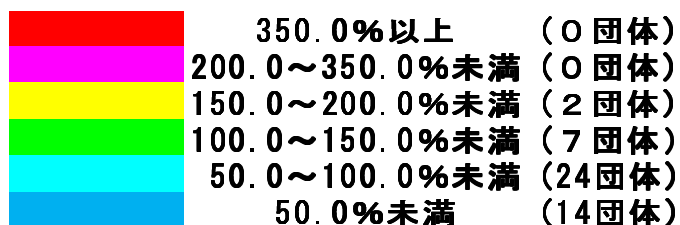
※○内の数字は、県内順位



平成24年度各都道府県の将来負担比率(市町村平均)の状況

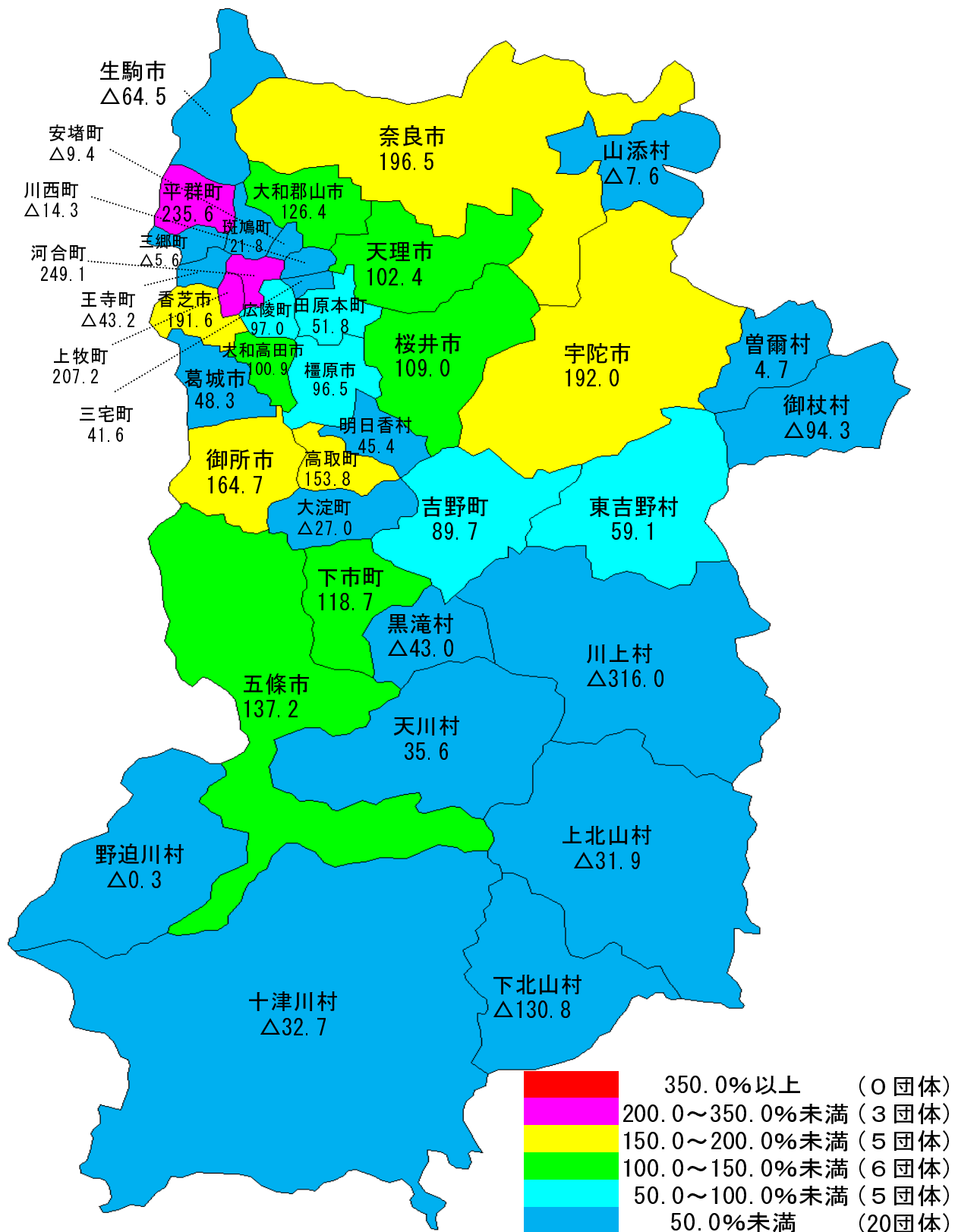
○奈良県内市町村の平均は109.5%。(全国平均は60.0%)

○東京都、岐阜県など14団体が50%未満と特に低く、京都府、島根県が150%以上と特に高くなっている。



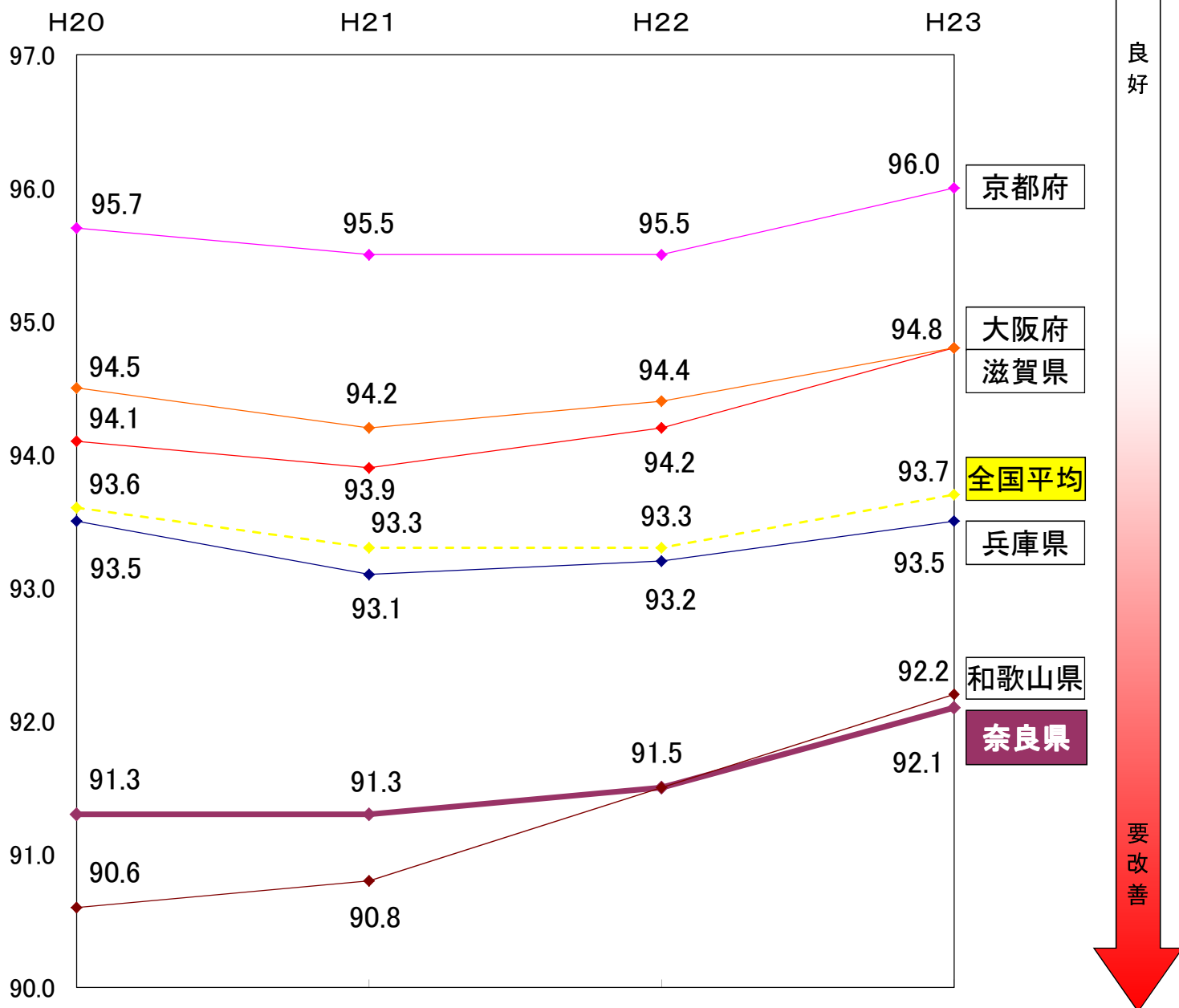
平成24年度奈良県内各市町村の将来負担比率の状況

○将来負担比率の県内市町村平均は109.5%。(全国平均は60.0%)
 ○川上村、下北山村など20団体が50%未満と特に低く、河合町、平群町、上牧町が200%以上と特に高くなっている。



近畿2府4県の市町村税徴収率(市町村平均)の推移

○平成23年度は、すべての府県が前年度より改善した。
 ○和歌山県の改善(0.7ポイント)が、奈良県の改善(0.6ポイント)を上回ったため、最下位となった。



	H20		H21		H22		H23	
	市町村税徴収率	順位	市町村税徴収率	順位	市町村税徴収率	順位	市町村税徴収率	順位
滋賀県	94.1	3	93.9	3	94.2	3	94.8	2
京都府	95.7	1	95.5	1	95.5	1	96.0	1
大阪府	94.5	2	94.2	2	94.4	2	94.8	2
兵庫県	93.5	4	93.1	4	93.2	4	93.5	4
奈良県	91.3	5	91.3	5	91.5	5	92.1	6
和歌山県	90.6	6	90.8	6	91.5	5	92.2	5
全国平均	93.6		93.3		93.3		93.7	

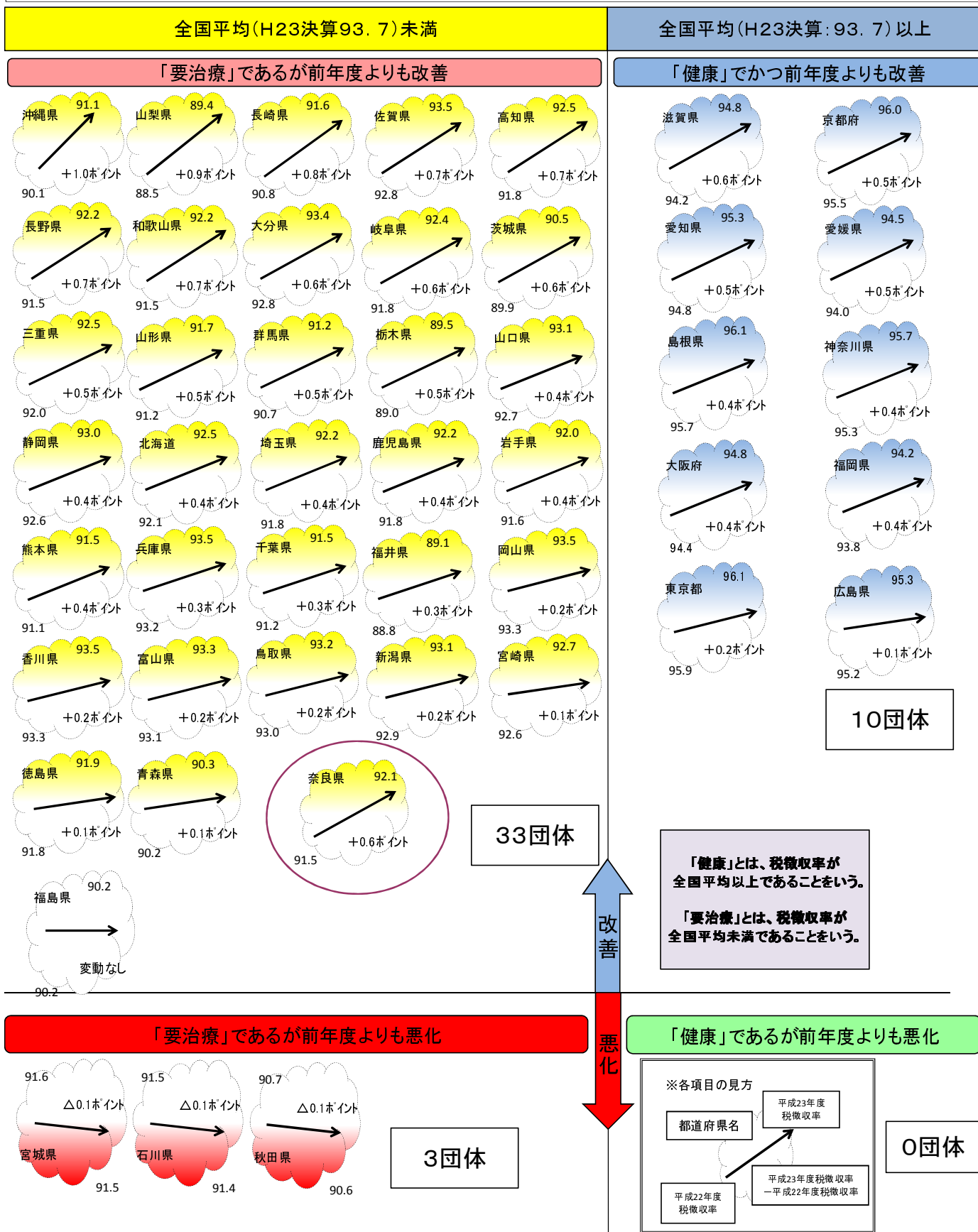
平成24年度他府県
数値は未公表

奈良県: 92.8%

平成23年度各都道府県の市町村税徴収率(市町村平均)の健康診断表
(全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分)

資料35

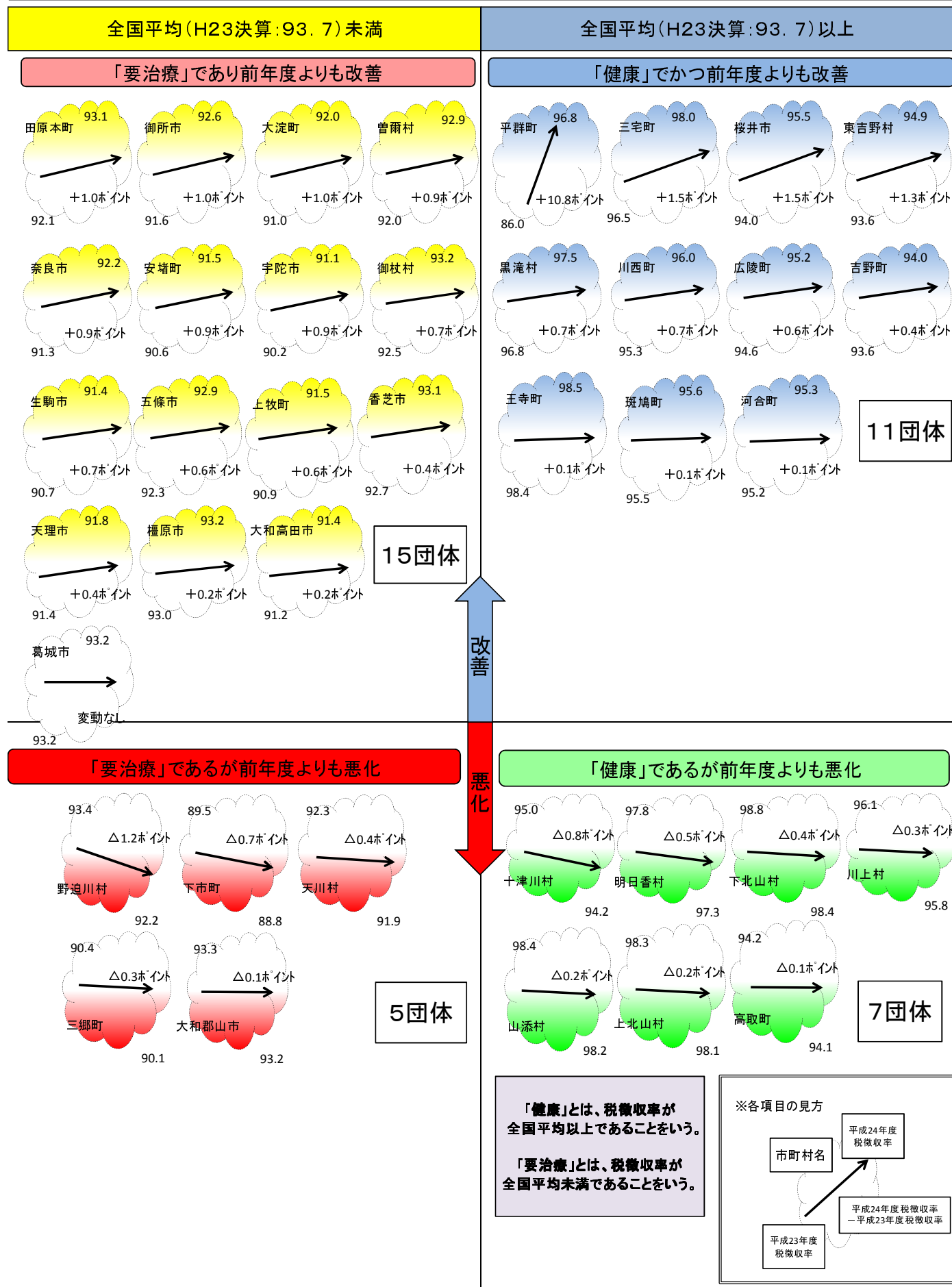
○税徴収率が全国平均以上(「健康」である)の団体は10団体で、これら全ての団体が前年度よりも改善。
○税徴収率が全国平均未満(「要治療」である)の団体は37団体で、このうち奈良県を含む33団体が前年度よりも改善し、3団体が悪化。
(1団体は変動なし。)

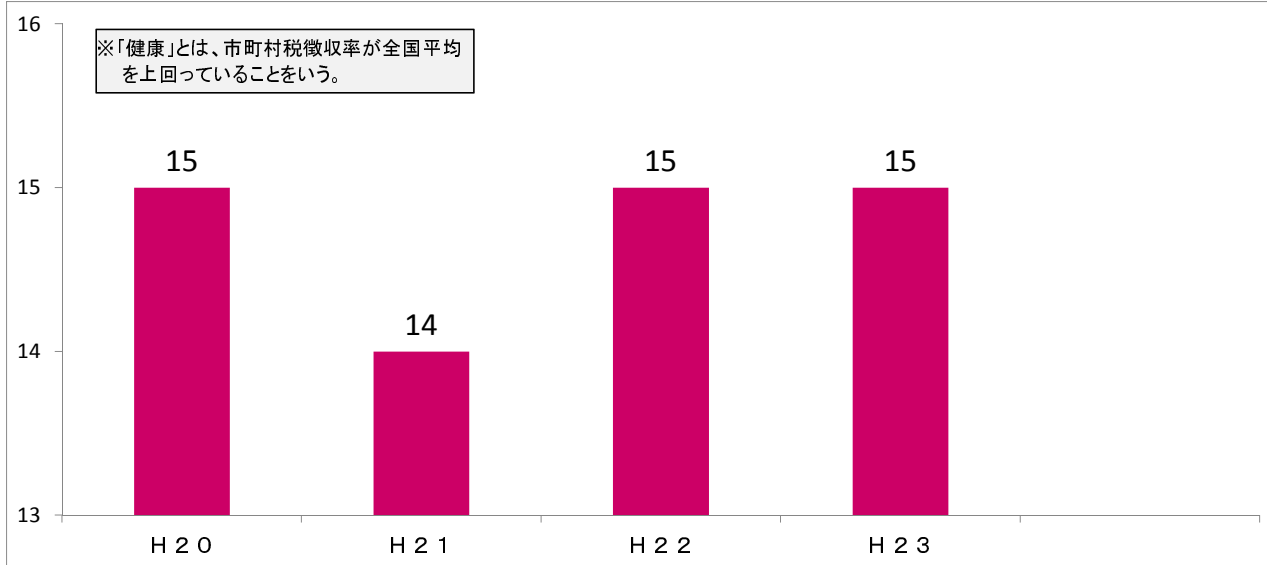


平成24年度奈良県内各市町村の税徴収率の健康診断表 (全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分)

資料36

○税徴収率が全国平均以上(「健康」である)の団体は18団体で、このうち11団体が前年度よりも改善し、7団体が前年度よりも悪化。
○税徴収率が全国平均未満(「要治療」である)の団体は21団体で、このうち15団体が前年度よりも改善し、5団体が悪化。(1団体は変動なし。)





○全国平均を上回っている団体数は、15団体程度で推移。

■ : 全国平均を上回っている団体

■ : 全国平均未満であるが県内市町村平均を上回っている団体

H 20年度		H 21年度		H 22年度		H 23年度		(単位: %)
市町村	率	市町村	率	市町村	率	市町村	率	
奈良市	90.8	奈良市	90.9	奈良市	90.9	奈良市	91.3	
大和高田市	89.9	大和高田市	88.9	大和高田市	89.9	大和高田市	91.2	
大和郡山市	92.2	大和郡山市	92.1	大和郡山市	92.7	大和郡山市	93.3	
天理市	91.0	天理市	91.3	天理市	90.8	天理市	91.4	
橿原市	93.1	橿原市	93.0	橿原市	92.9	橿原市	93.0	
桜井市	91.4	桜井市	91.7	桜井市	92.0	桜井市	94.0	
五條市	92.0	五條市	91.3	五條市	91.0	五條市	92.3	
御所市	83.8	御所市	85.6	御所市	90.5	御所市	91.6	
生駒市	89.7	生駒市	89.8	生駒市	90.1	生駒市	90.7	
香芝市	91.7	香芝市	91.6	香芝市	92.0	香芝市	92.7	
葛城市	91.5	葛城市	92.3	葛城市	92.9	葛城市	93.2	
宇陀市	88.7	宇陀市	88.0	宇陀市	88.6	宇陀市	90.2	
山添村	97.1	山添村	97.3	山添村	97.8	山添村	98.4	
平群町	84.9	平群町	84.9	平群町	85.6	平群町	86.0	
三郷町	92.2	三郷町	92.0	三郷町	91.1	三郷町	90.4	
斑鳩町	95.5	斑鳩町	95.3	斑鳩町	95.5	斑鳩町	95.5	
安堵町	92.8	安堵町	91.6	安堵町	91.0	安堵町	90.6	
川西町	95.6	川西町	95.5	川西町	94.9	川西町	95.3	
三宅町	92.2	三宅町	93.2	三宅町	94.3	三宅町	96.5	
田原本町	90.1	田原本町	90.2	田原本町	90.2	田原本町	92.1	
曽爾村	88.5	曽爾村	88.0	曽爾村	89.6	曽爾村	92.0	
御杖村	93.8	御杖村	93.2	御杖村	93.1	御杖村	92.5	
高取町	94.0	高取町	94.9	高取町	94.2	高取町	94.2	
明日香村	99.0	明日香村	98.8	明日香村	98.2	明日香村	97.8	
上牧町	88.7	上牧町	89.8	上牧町	90.7	上牧町	90.9	
王寺町	97.8	王寺町	98.1	王寺町	98.1	王寺町	98.4	
広陵町	93.0	広陵町	93.3	広陵町	93.7	広陵町	94.6	
河合町	93.6	河合町	93.9	河合町	94.3	河合町	95.2	
吉野町	94.3	吉野町	93.5	吉野町	92.7	吉野町	93.6	
大淀町	91.2	大淀町	90.6	大淀町	90.8	大淀町	91.0	
下市町	91.6	下市町	91.0	下市町	90.2	下市町	89.5	
黒滝村	93.8	黒滝村	95.9	黒滝村	96.3	黒滝村	96.8	
天川村	94.8	天川村	92.9	天川村	93.0	天川村	92.3	
野迫川村	87.2	野迫川村	90.8	野迫川村	95.9	野迫川村	93.4	
十津川村	96.3	十津川村	96.1	十津川村	95.6	十津川村	95.0	
下北山村	99.5	下北山村	99.3	下北山村	99.1	下北山村	98.8	
上北山村	98.9	上北山村	98.5	上北山村	98.7	上北山村	98.3	
川上村	96.2	川上村	96.5	川上村	96.5	川上村	96.1	
東吉野村	87.6	東吉野村	89.3	東吉野村	91.2	東吉野村	93.6	
県内市町村平均	91.3	県内市町村平均	91.3	県内市町村平均	91.5	県内市町村平均	92.1	
全国平均	93.6	全国平均	93.3	全国平均	93.3	全国平均	93.7	

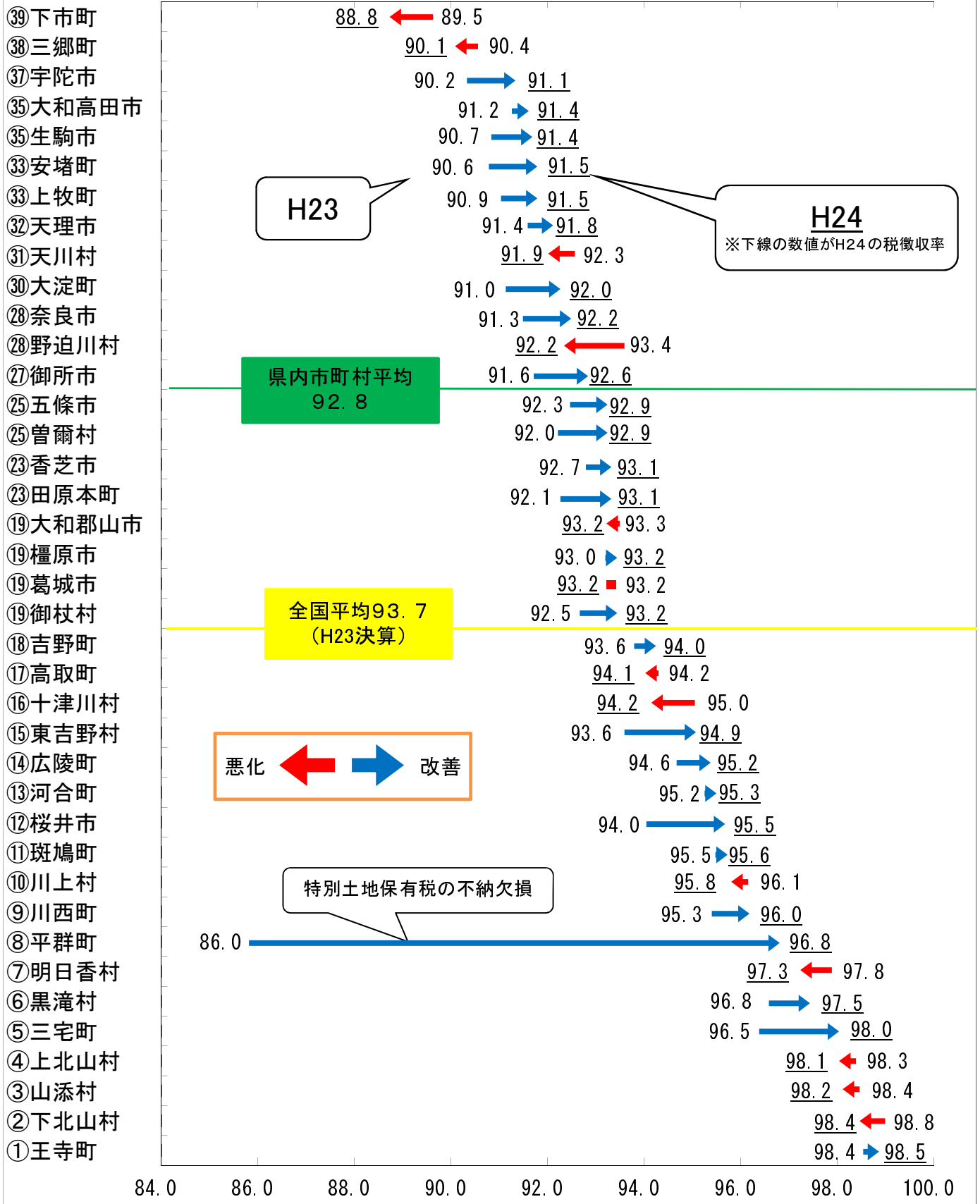
奈良県内各市町村の税徴収率の対前年度比較

資料38

○県内市町村平均は0.7ポイント改善し、92.8%。
○前年度より改善した団体数は26、悪化した団体数は12、変動なしが1。

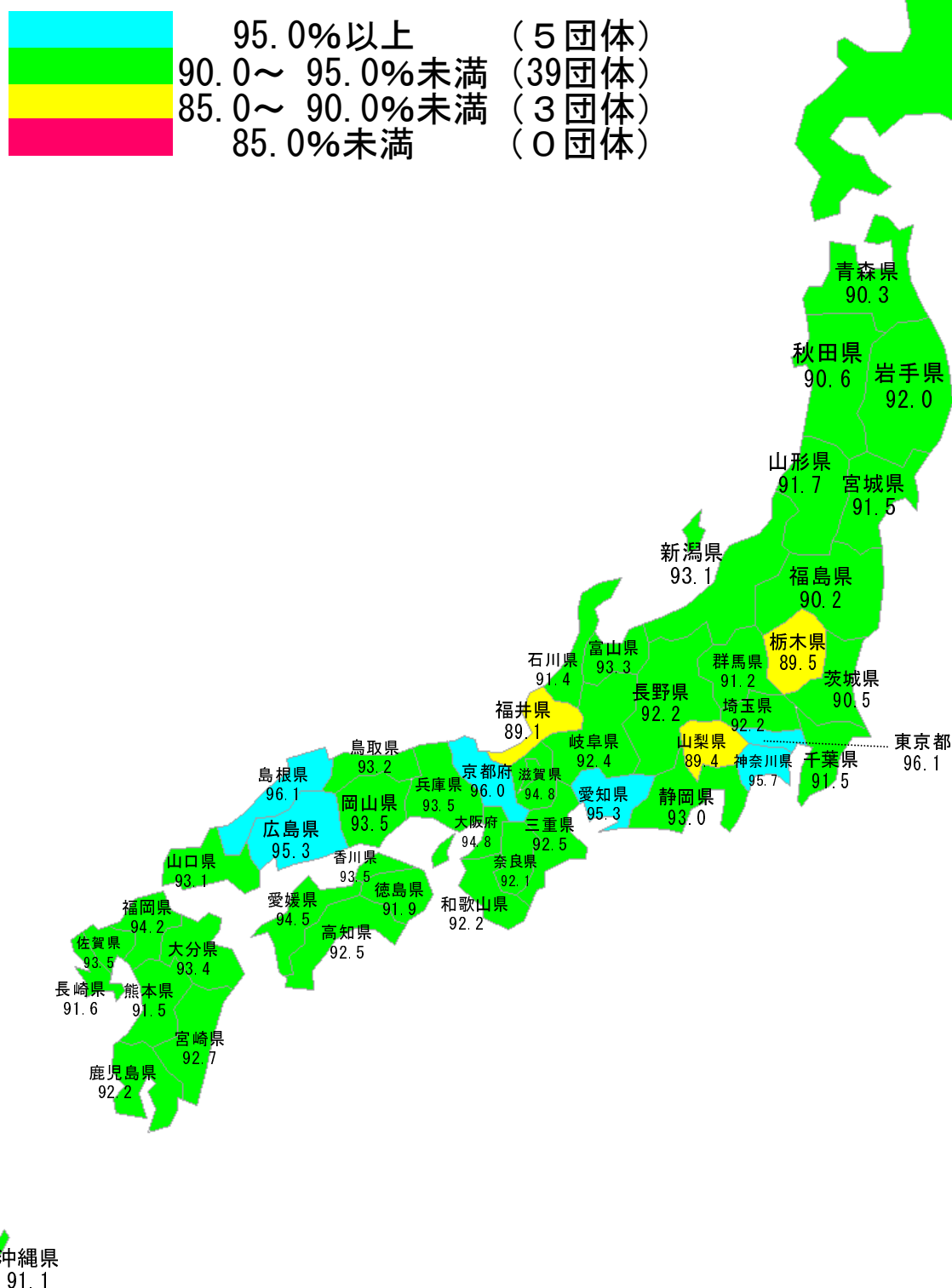


※○内の数字は、県内順位



平成23年度各都道府県の税徴収率(市町村平均)の状況

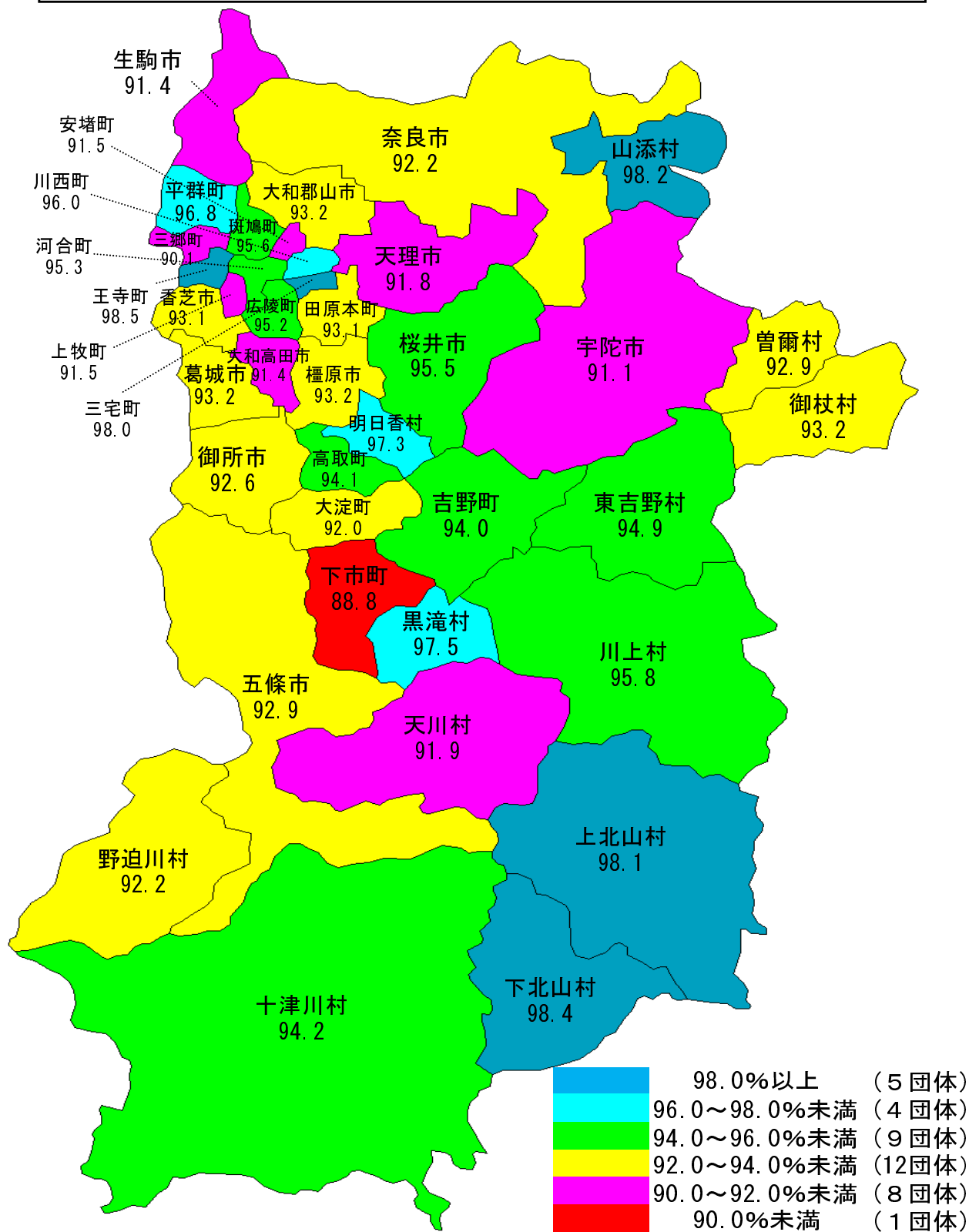
- 奈良県内市町村の平均は92.1%。(全国平均は93.7%)
 ○東京都、島根県、京都府、神奈川県、愛知県、広島県が95%以上と特に高く、
 福井県、山梨県、栃木県が90%未満と特に低くなっている。



平成24年度奈良県内各市町村の税徴収率の状況

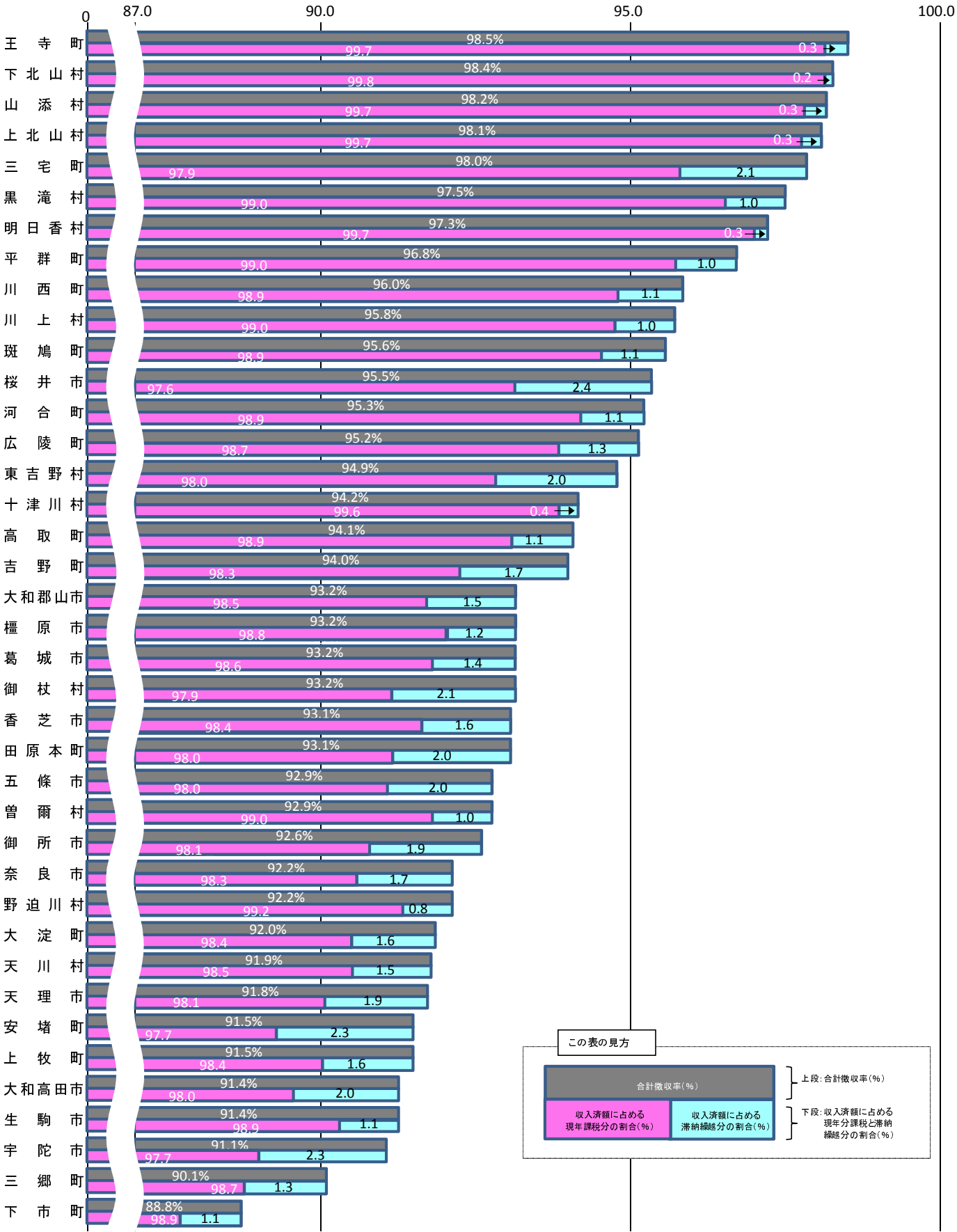
○市町村税徴収率の県内市町村平均は92.8%。
 (全国平均は3月公表予定 平成23年度全国平均：93.7%)

○市部の徴収率は改善がみられるものの依然低迷している。



平成24年度税徴収率と現年課税分収入済額・滞納繰越分収入済額の割合

- 税徴収率が高い団体は、現年課税分の徴収率が高く、収入済額に占める滞納繰越額の割合が小さい。
新たな滞納を発生させないことが、高い徴収率を維持するポイント。
- 王寺町(99.7%)は現年課税分の徴収率が非常に高いこと、三宅町(58.4%)、桜井市(40.2%)は滞納繰越分の徴収率が高いことから、税徴収率が高い。



この表の見方

合計徴収率(%)

収入済額に占める現年課税分の割合(%)

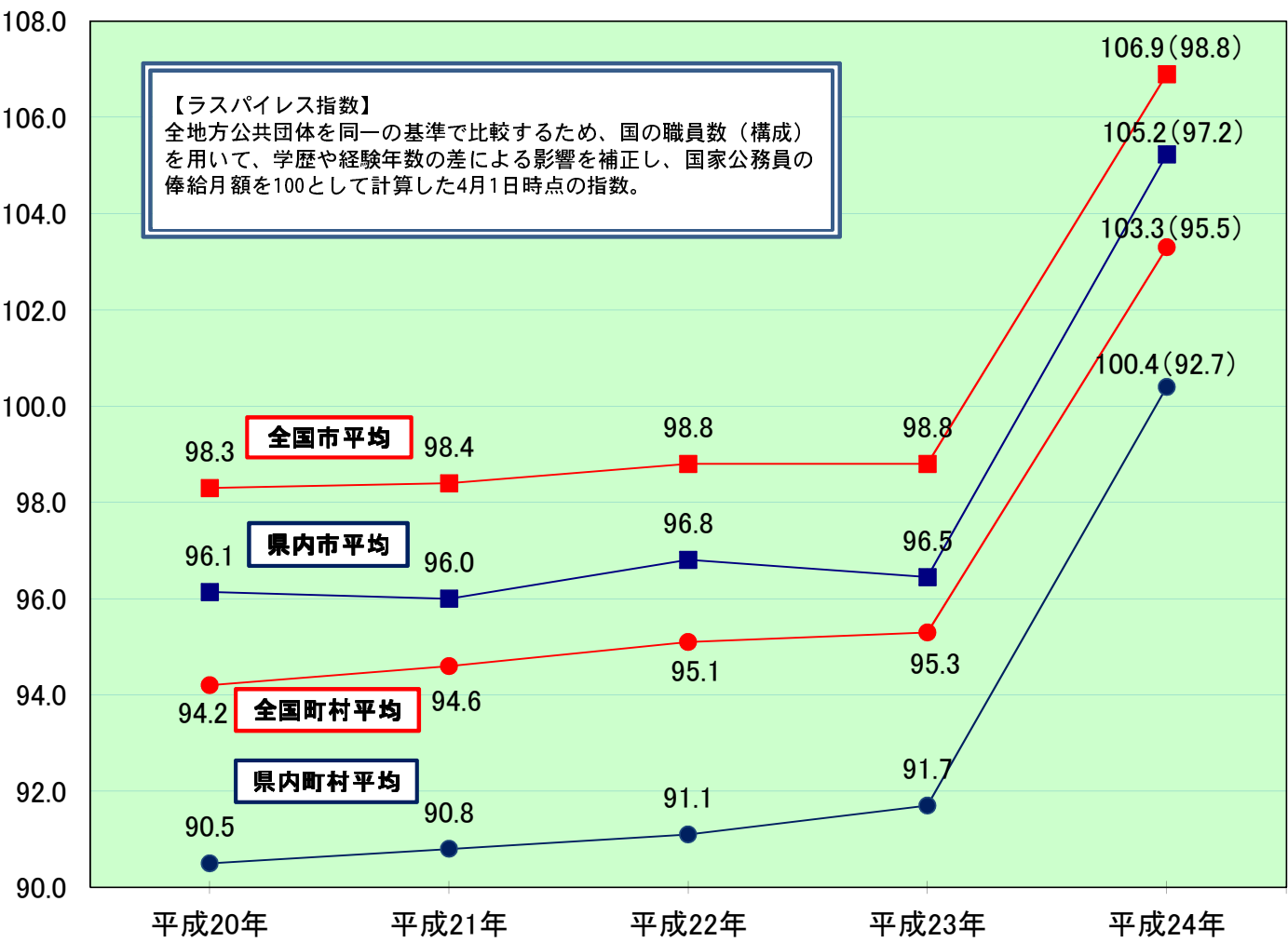
収入済額に占める滞納繰越分の割合(%)

上段: 合計徴収率(%)

下段: 収入済額に占める現年課税分と滞納繰越分の割合(%)

奈良県内市町村のラスパイレス指数の推移

○県平均のラスパイレス指数は、過去5年間いずれの年も、市・町村とも全国平均を下回っている。
○市町村のラスパイレス指数は、平成20年から23年にかけて県平均・全国平均ともに、わずかながら上昇傾向にあったが平成24年に大きく上昇。
※ 平成24年のラスパイレス指数の上昇は、給与改定特例法により、平成24年度の国家公務員給与が平均7.8%減額されたことによる影響。



区 分		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
奈良県	市平均	96.1	96.0	96.8	96.5	105.2 (97.2)
	町村平均	90.5	90.8	91.1	91.7	100.4 (92.7)
全国	市平均	98.3	98.4	98.8	98.8	106.9 (98.8)
	町村平均	94.2	94.6	95.1	95.3	103.3 (95.5)

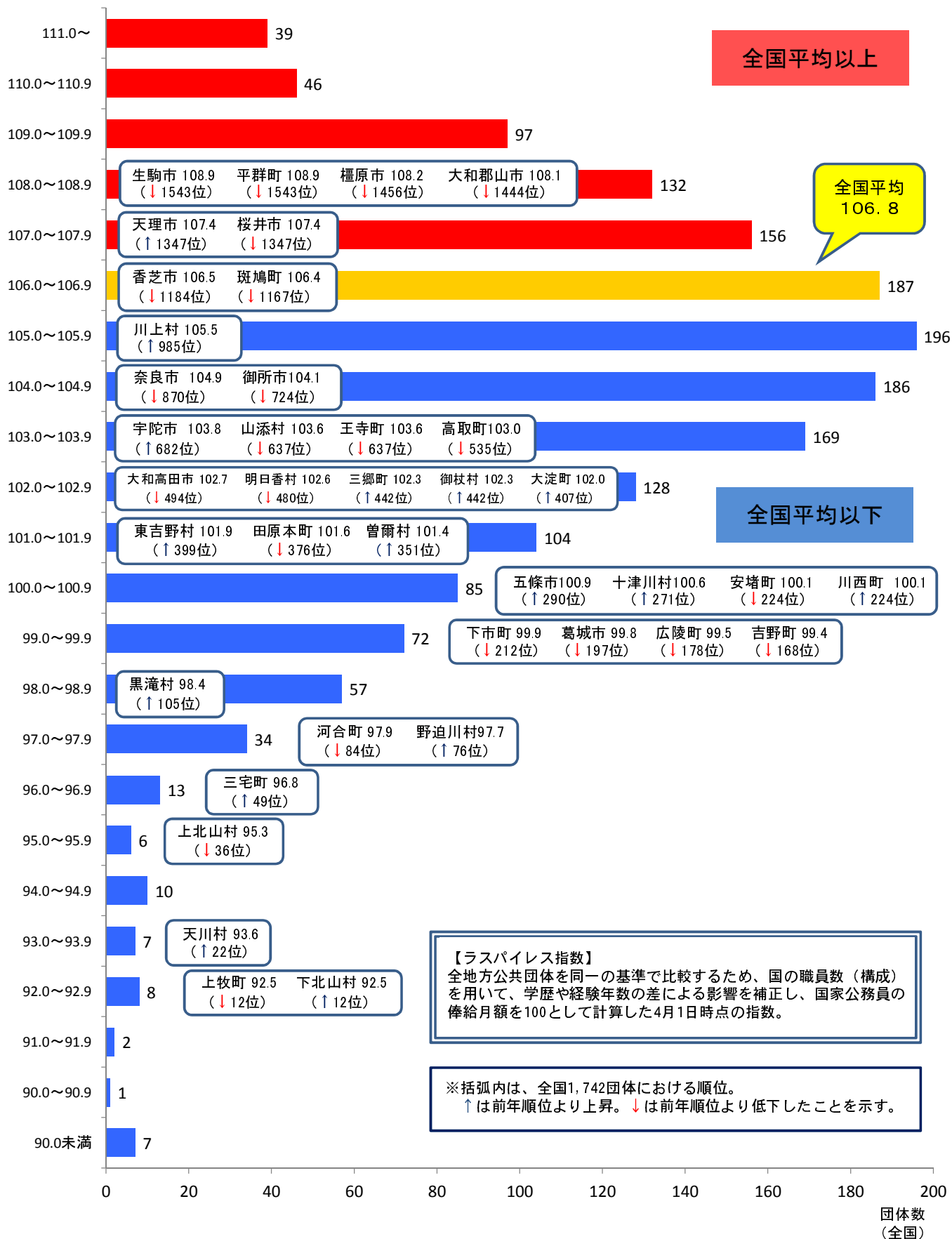
※ 平成24年の括弧内の数値は、国家公務員の時限的な(平成24年4月～平成26年3月末)給与改定特例法による措置が無いとした場合の参考値。
※ ラスパイレス指数の平均値は、各団体の職員数による加重平均。

平成24年全国市区町村における奈良県内各市町村のラスパイレース指数の状況

○全国の市町村とラスパイレース指数を比較すると、生駒市、平群町、橿原市、大和郡山市などが高く、上牧町や下北山村などが低くなっている。

○全国平均以上の団体数は6、全国平均以下の団体数は33となっている。

※ 本表のラスパイレース指数は、国家公務員の給与減額措置(平成24年4月～平成26年3月末)が反映された平成24年4月時点での指数のため、全国的に市町村の指数は高い(全国平均:H24=106.8、H23=98.9)。

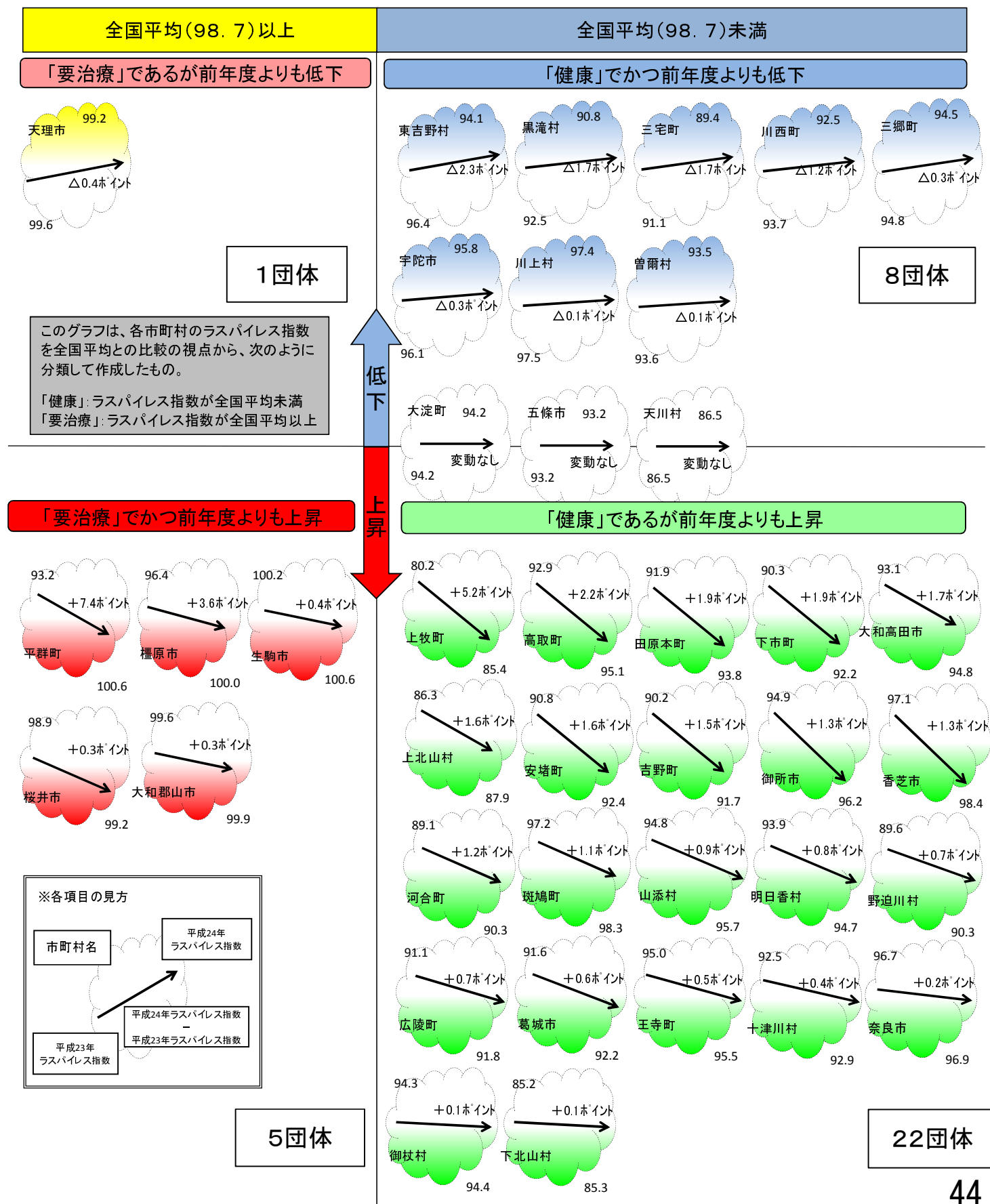


奈良県内各市町村のラスパイレース指数(参考値)の健康診断表(全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分)

○ラスパイレース指数が全国平均以上の団体は6団体で、このうち1団体が前年よりも低下。

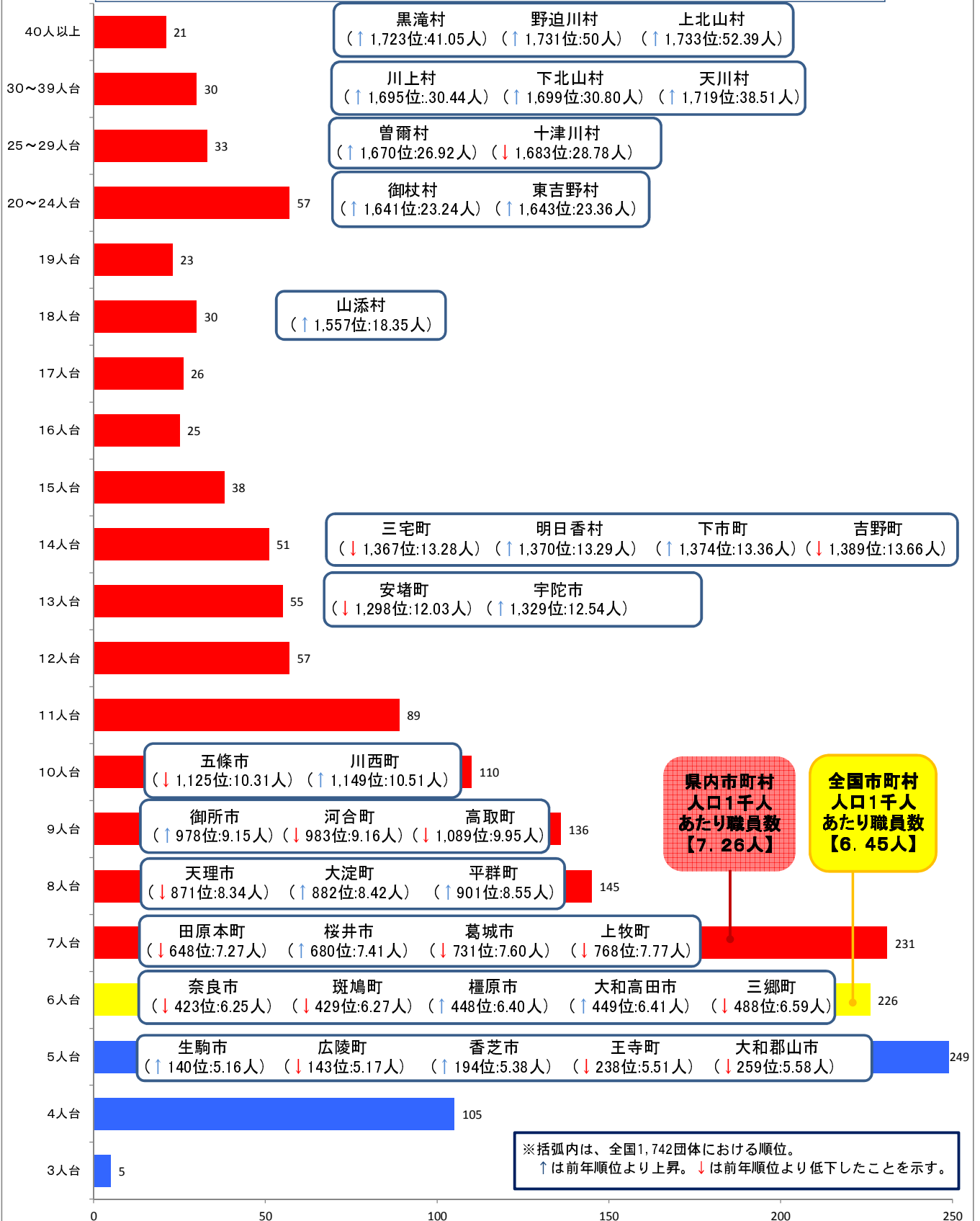
○ラスパイレース指数が全国平均未満の団体は33団体で、このうち8団体が前年よりも低下し、22団体が上昇、3団体が変動なし。

※ 経年比較のため、このページでのラスパイレース指数は、国家公務員の給与減額措置(平成24年4月～平成26年3月末)が無いものとした場合の「参考値」の指数。

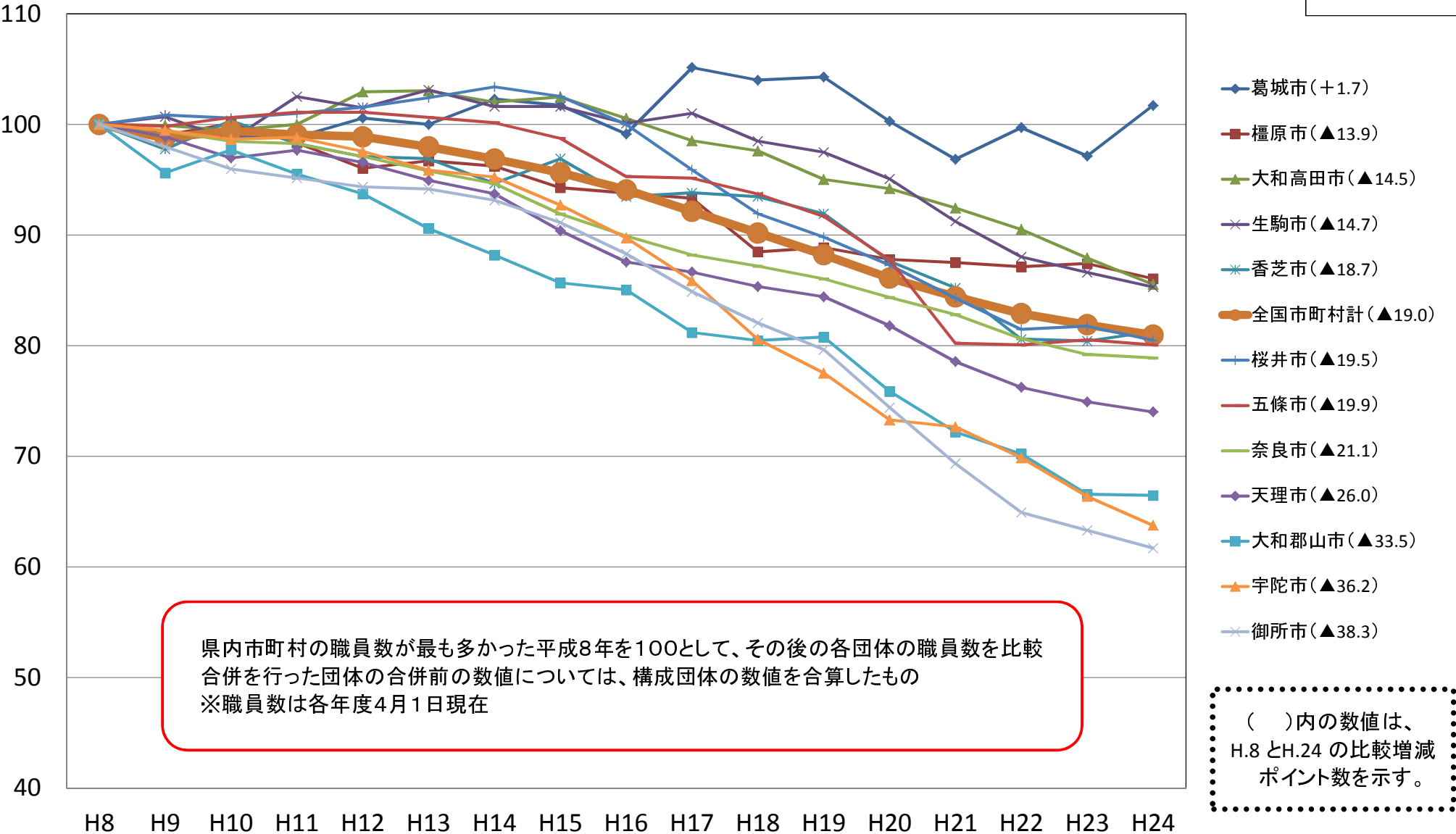


平成24年全国市区町村における奈良県内市町村の人口1千人あたり職員数の状況

- 比較的人口が多く、住宅地域が密集している団体ほど、人口1千人あたり職員数は小さくなる傾向がある。
 ○人口が少ない団体ほど、人口1千人あたり職員数が多くなる傾向がある。
 ○公営企業会計及び消防部門の職員数を除いた職員数で算出。
 ○平成24年定員管理調査の職員数と住民基本台帳に基づく人口(平成24年3月31日現在)に基づき算出。

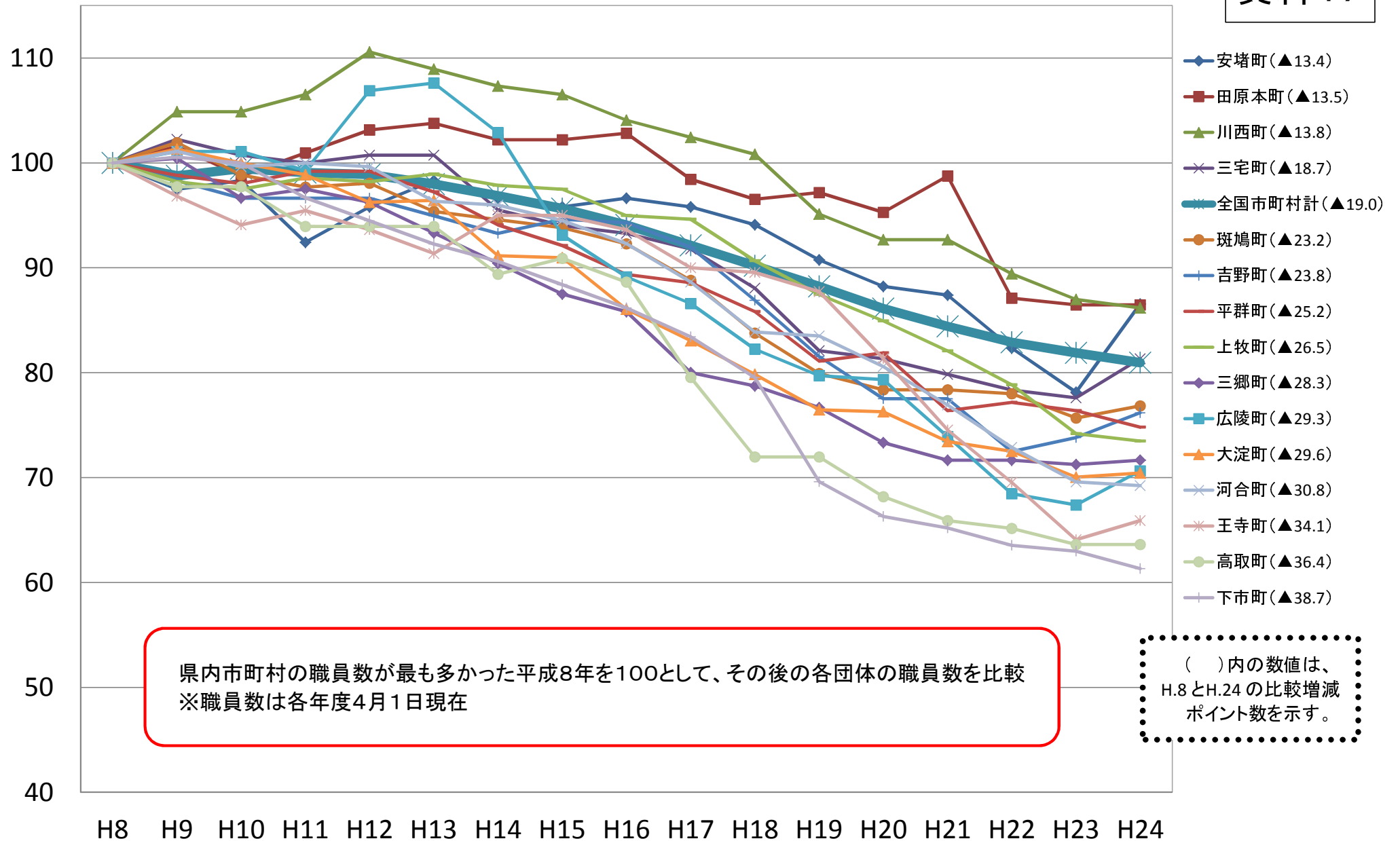
団体数
(全国)

県内12市の職員数の推移



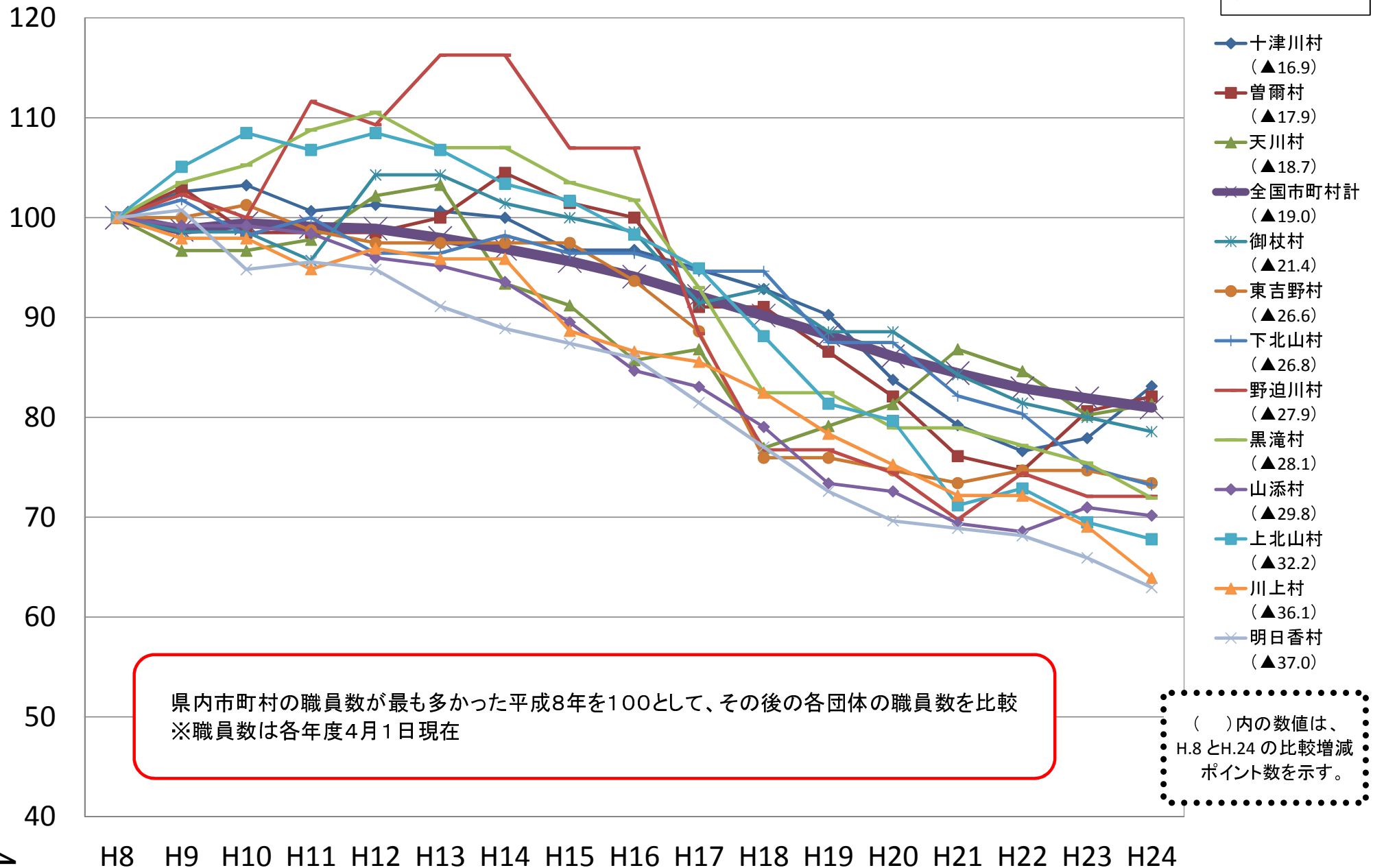
県内15町の職員数の推移

資料47



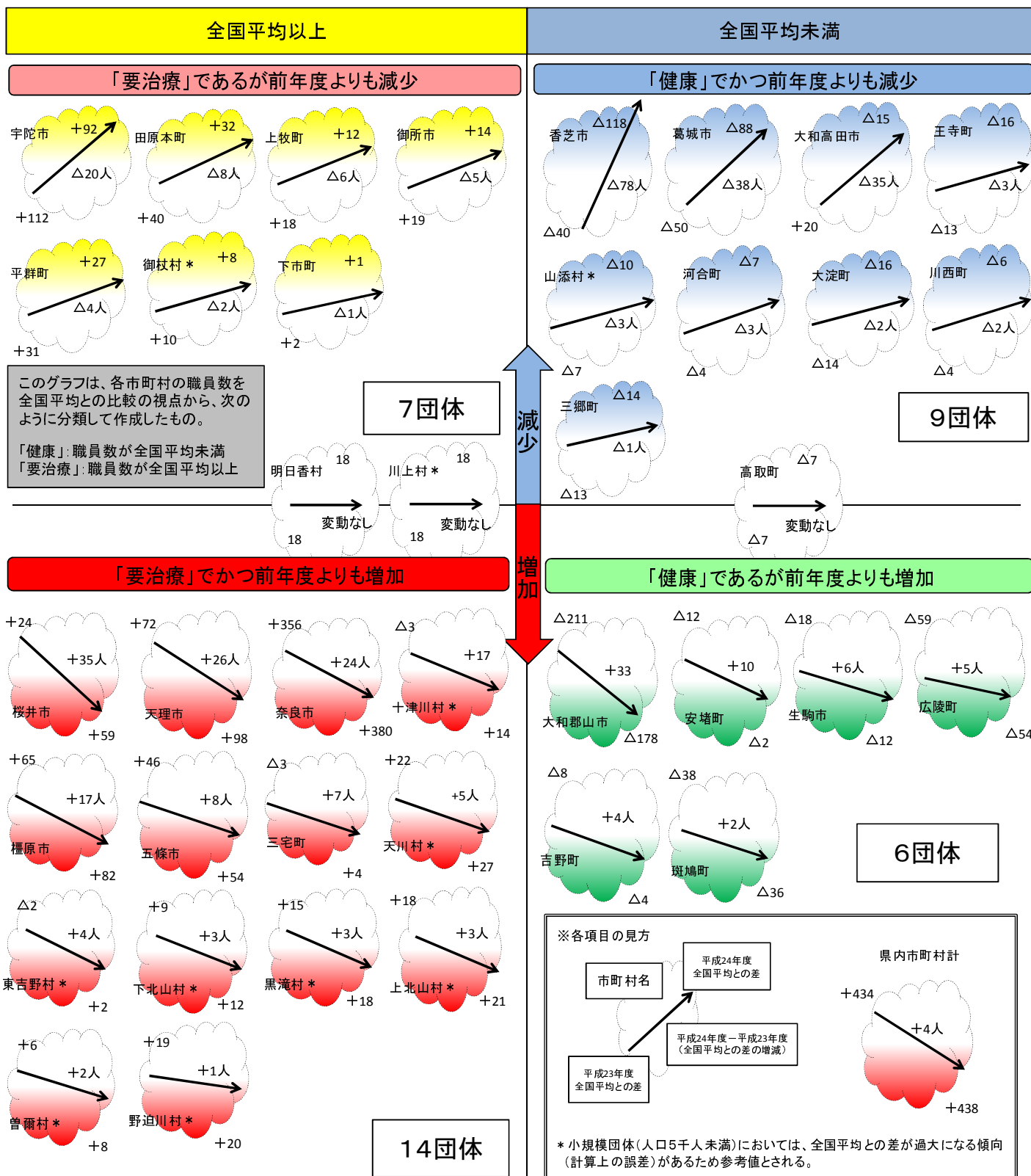
県内12村の職員数の推移

資料48

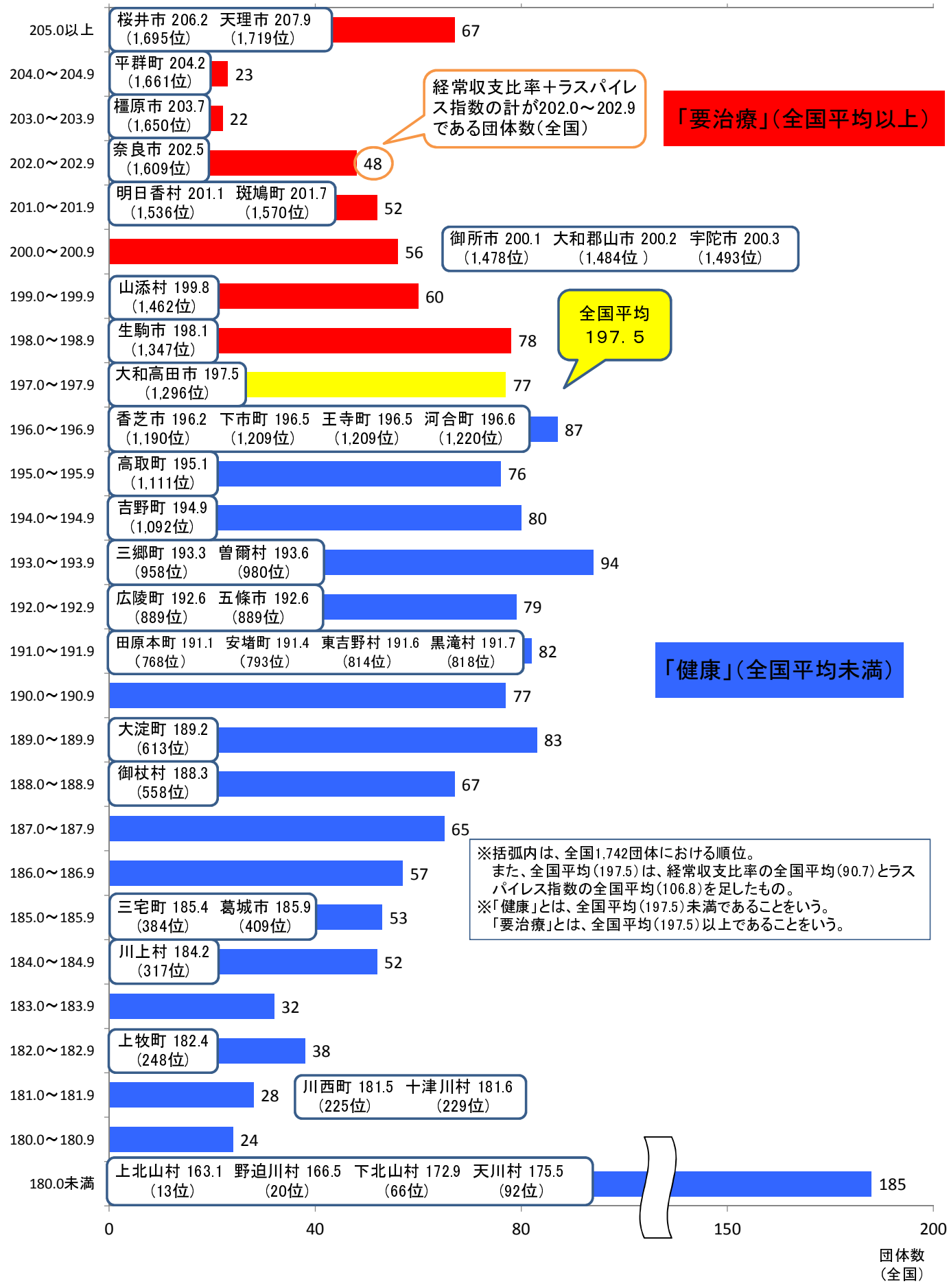


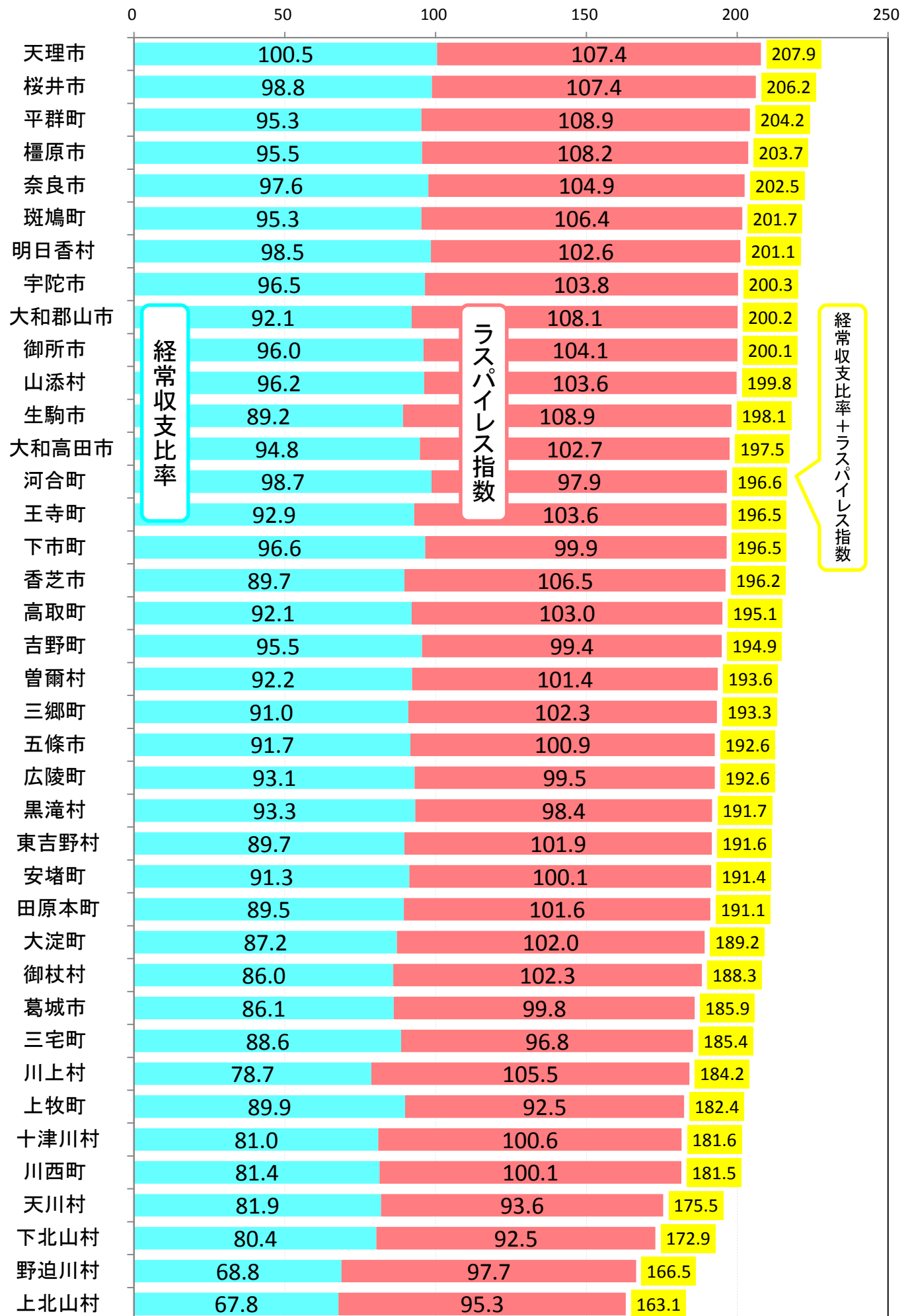
○職員数が全国平均より少ない団体は16団体で、このうち9団体が前年度よりも減少し、6団体が増加、1団体は変動なし。
○職員数が全国平均より多い団体は23団体で、このうち7団体が前年度よりも減少し、14団体が増加、2団体は変動なし。

※ 全国平均：人口規模と産業構造が似た全国の市町村(類似団体)ごとに算出した職員数の平均値
※ 平成24年定員管理調査の職員数と類似団体別職員数(平成24年4月1日現在)に基づき算出。



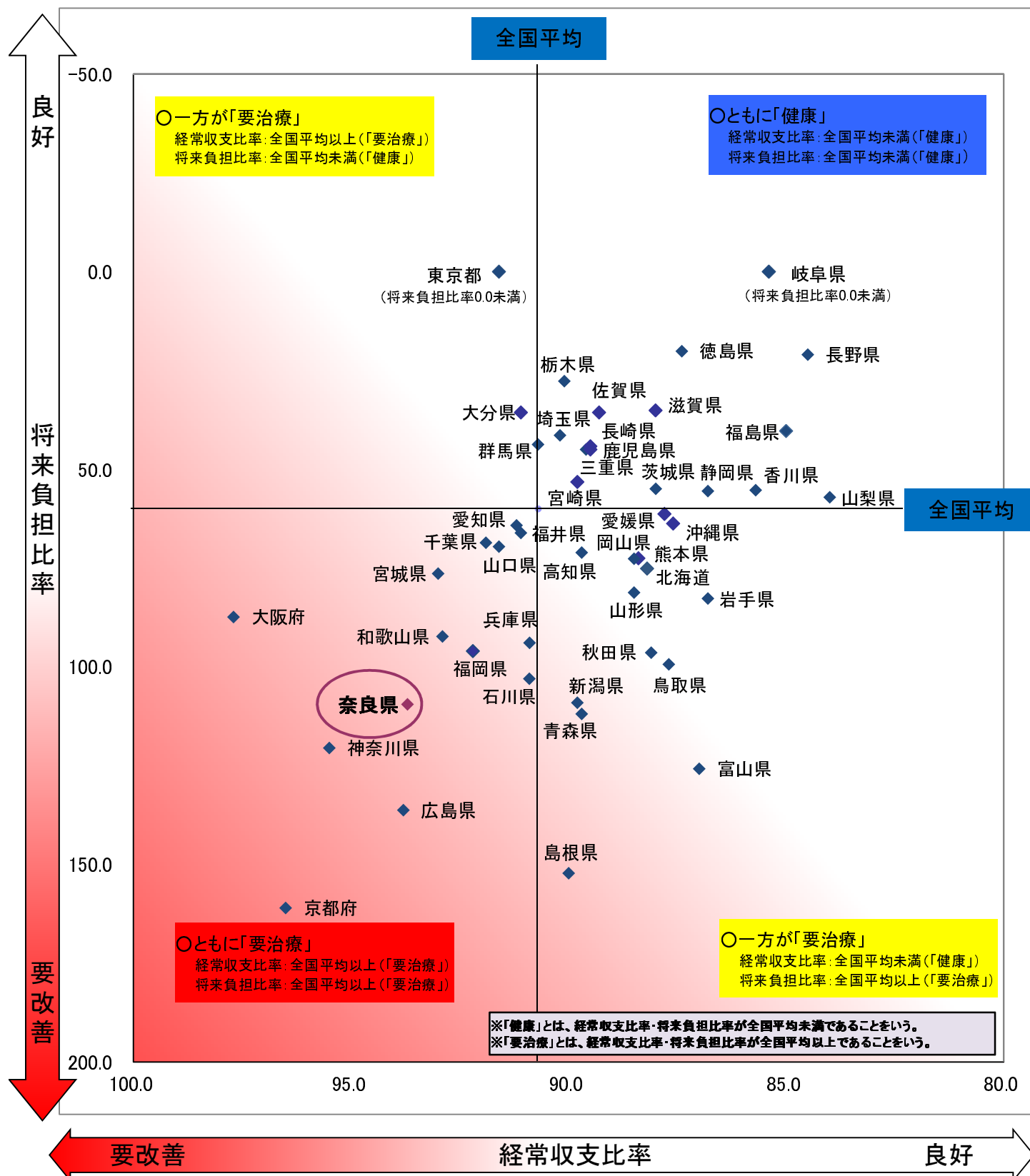
○全国1,742団体と比較すると、上北山村、野迫川村、下北山村などの順位が低く、天理市、桜井市、平群町、橿原市などの順位が高い。
○全国平均以上の団体数は13、全国平均未満の団体数は26となっている。





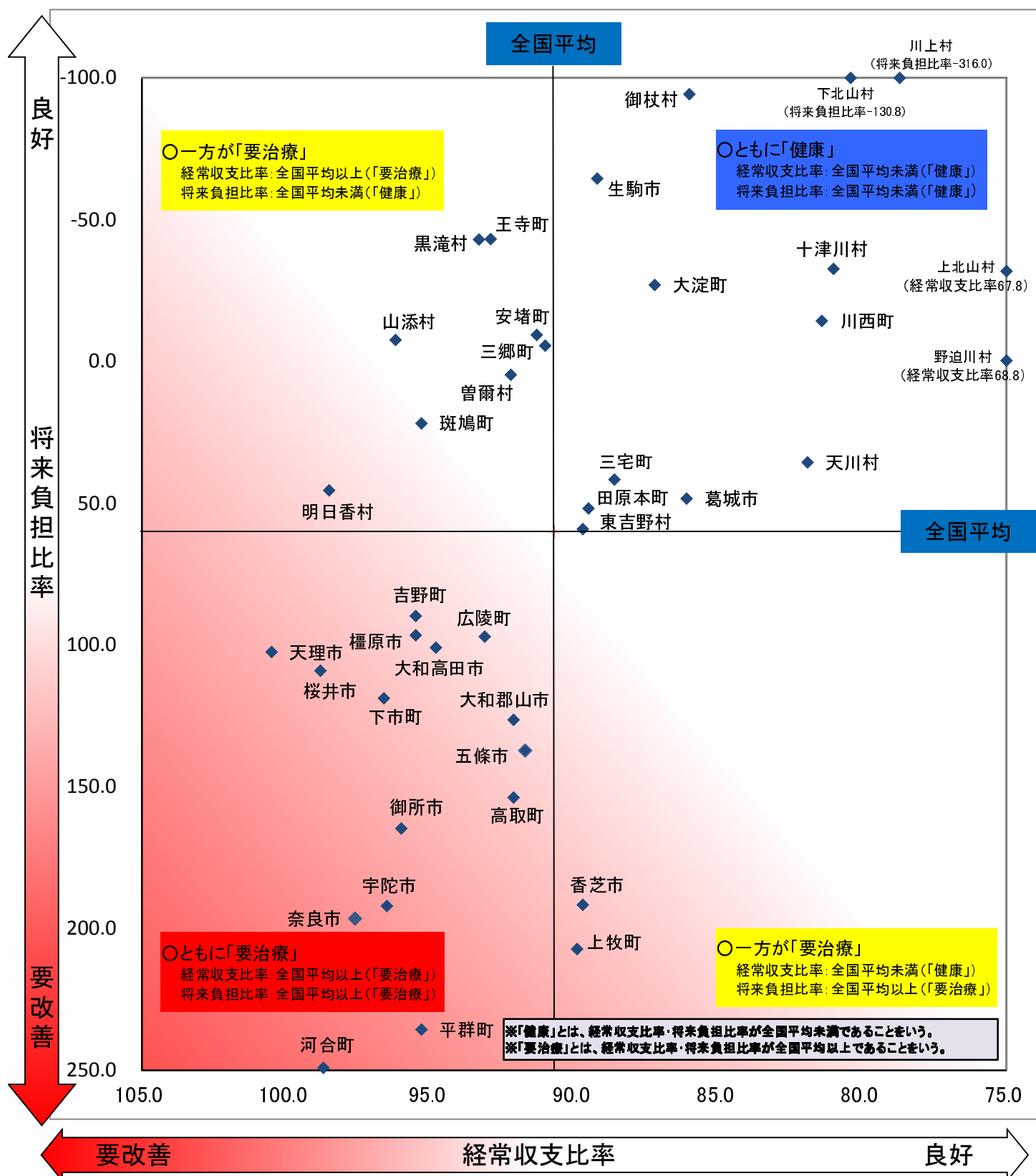
各都道府県の経常収支比率(市町村平均)と将来負担比率(市町村平均)の相関関係

- 岐阜県、長野県、徳島県など16団体は経常収支比率・将来負担比率ともに全国平均未満となっている。
- 東京都、大分県、群馬県の3団体は経常収支比率は全国平均以上であるが将来負担比率は全国平均未満となっている。
- 富山県、島根県、鳥取県など14団体は経常収支比率は全国平均未満であるが将来負担比率は全国平均以上となっている。
- 奈良県を含む京都府、広島県、神奈川県など14団体は経常収支比率・将来負担比率ともに全国平均以上となっている。



奈良県内各市町村の経常収支比率と将来負担比率の相関関係

- 川上村、下北山村、上北山村など14団体は経常収支比率・将来負担比率ともに全国平均未満となっている。
- 黒滝村、山添村、王寺町など8団体は経常収支比率は全国平均以上であるが将来負担比率は全国平均未満となっている。
- 上牧町と香芝市の2団体は経常収支比率は全国平均未満であるが将来負担比率は全国平均以上となっている。
- 河合町、平群町、奈良市など15団体は経常収支比率・将来負担比率ともに全国平均以上となっている。



奈良県内各市町村の経常収支比率とラスパイレス指数の相関関係

- 下北山村、天川村、上北山村など15団体は経常収支比率・ラスパイレス指数ともに全国平均未満となっている。
- 河合町、下市町、吉野町など18団体は経常収支比率は全国平均以上であり、ラスパイレス指数は全国平均未満となっている。
- 生駒市の1団体は経常収支比率は全国平均未満であり、ラスパイレス指数は全国平均以上となっている。
- 平群町、天理市、桜井市など5団体は経常収支比率・ラスパイレス指数ともに全国平均以上となっている。

